

1. 事務事業の概要

事務事業名	果樹・園芸振興事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0016 果樹園芸振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H22)		10年以上
根拠法令	新庄市産地生産基盤パワーアップ事業費補助金交付要綱、新庄市元気な地域農業担い手育成支援事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-1-①-1
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	農業協同組合・農業法人・農業者団体・農業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	園芸農業の産出額の増大を目指し、本市農業者の総参加を促し、新品種や新技術等を活用した園芸産地の拡大と活性化を実現する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	園芸農業の更なる産出額の増大を目指した、施設整備や機械導入等の取り組みに対し、支援する。 要件：成果目標の基準を満たしていること、産地としての面積要件等を満たしていること。 補助率：補助対象経費の1/2以内の額 (周知方法：農業だより、関係機関へメール)
事業の結果	作業効率化に寄与する機械を導入したことで労働負荷を大幅に軽減し、追肥等の栽培管理を適期に行う事ができたため、品質の向上と収量の増加に寄与した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	0	6,148	145	2,455	0	0	4-1-①-12土地利用型作物の生産振興と統合（補助事業が一緒）	
内訳	特定財源	0	6,148	97	2,032	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	48	423	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.3	0.68	0.52	0.2	0.2
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	事業実施主体数（年度）	実績		0	1	1	3	0	0	2
		達成率		0%	50%	50%	150%	0%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	農業生産額（千円）	実績		1,082,904	978,398	1,171,158	1,246,446	公開前		1,250,000
		達成率		87%	78%	94%	100%	#VALUE!	0%	
説明・出典	果樹・野菜・花卉（農業生産状況調査）									

1. 事務事業の概要

事務事業名	魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-16 果樹園芸振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)		3年以上
根拠法令	新庄市魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-1-①-2
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	農業協同組合・農業法人・農業者団体・農業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	園芸農業の産出額の増大を目指し、本市農業者の総参加を促し、新品種や新技術等を活用した園芸産地の拡大と活性化を実現する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	園芸農業の更なる産出額の増大を目指した、施設整備や機械導入等の取り組みに対し、支援する。 対象：市振興作物を栽培する農業者団体、農業法人、農業協同組合連合会又は農業協同組合で、県の定める要件を満たすもの 補助率：県1/3、市1/6
事業の結果	ハウスや資材の導入により、市の振興作物の積極的な生産及び作付面積の拡大につながった。産地間競争力が強化されたことにより、園芸品目の農業所得向上に寄与した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	738	10,186	7,765	6,529	1,444	0	魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業費補助金（1,444）
内訳	特定財源	591	6,789	5,176	4,641	962	特定財源の名称（金額）
	一般財源	147	3,397	2,589	1,888	482	魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業費補助金（962）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.26	0.29	0.28	0.2	0.2
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	事業実施主体数（年度）	実績		1	6	4	2	1		10
		達成率		10%	60%	40%	20%	10%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	農業生産額（千円）	実績		1,082,904	978,398	1,171,158	1,246,446	公開前		1,250,000
		達成率		87%	78%	94%	100%	#VALUE!	0%	
説明・出典	果樹・野菜・花卉（農業生産状況調査）									

1. 事務事業の概要

事務事業名	振興作物シニアチャレンジ支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0001 農業振興行政事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H30 ）		3年以上
根拠法令	振興作物シニアチャレンジ支援事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-1-①-3
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新たな園芸品目に取り組むシニア世代の農業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	シニア世代が新たな園芸品目に取り組むことで地域を牽引する
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	新たな園芸品目に取り組む場合の経費（機械購入、資材購入等）の補助を行う。 補助率：補助対象経費の1/2もしくは300千円のいずれか低い額
事業の結果	R6実績なし

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	537	66	254	0	0	600	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	537	66	254	0	0	600

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.18	0.15	0.15	0.15	0.15
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	振興作物シニアチャレンジ支援事業実施件数（年度）	実績		2	1	1	0	0	2	3
		達成率		67%	33%	33%	0%	0%	67%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	農業生産額（千円）	実績		1,082,904	978,398	1,171,158	1,246,446	公開前		1,250,000
		達成率		86.63%	78.27%	93.69%	99.72%	#VALUE!	0.00%	
説明・出典	果樹・野菜・花卉（農業生産状況調査）									

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄市花き連絡協議会事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0016 果樹園芸振興事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H13 ）		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-1-①-4
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内花き生産者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄市における花き生産体制強化と振興を図り、銘柄産地化を推進する。また、生産者間の交流と、技術の向上を目指す。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	花き関連催事における関係団体との連絡調整
事業の結果	新庄・もがみフラワーフェスティバルの運営協力により、本市の花き生産についてPRすることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	0	0	0	0	0	0	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.18	0.11	0.1	0.19	0.2
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	協議会会議開催数（回）	実績		2	3	1	1	0		3
		達成率		67%	100%	33%	33%	0%	0%	
説明	災害対応等によりR6は総会を開催できなかった。									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	生産販売額（千円）	実績		298,372	313,427	338,541	402,197	公開前		350,000
		達成率		85%	90%	97%	115%	#VALUE!	0%	
説明・出典	農業生産状況に基づく。									

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄市果樹研究会事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0016 果樹園芸振興事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H14 ）	10年以上	
根拠法令	記載なし		

事業コード	4-1-①-5
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新庄市内において果樹栽培を営む農家
事業の目的 どのような状態にしたいのか	高収益が見込める果樹栽培を安定的に経営することによる、規模拡大と生産者の増加、果樹栽培技術の向上。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	さくらんぼの剪定・防除研修会を開催し、果樹栽培の技術向上を図る。また、事業としてさくらんぼの直売やふるさと納税への参加、地産地消の推進として市内学校給食への提供を実施する。会員相互による技術向上の取り組みや新庄産果樹の産地としての広報や啓発活動を行い、当市果樹生産の振興を図る。
事業の結果	開花時期の降雪による被害や大雨による被害等を受け、出荷がゼロになった園地もあった。降霜被害対策、結実対策等専門的な指導を受けながら、安定した生産、技術向上、収穫量増加のため支援していく。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	0	0	0	0	0	0	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.19	0.23	0.22	0.22	0.22
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	研修会・事業回数（回）	実績		10	6	10	11	12		20
		達成率		50%	30%	50%	55%	60%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	さくらんぼ販売量（kg）	実績		935	128	349	43	540	0	2500
		達成率		37.4%	5.1%	14.0%	1.7%	21.6%	0	
説明・出典	農林課調べ									

1. 事務事業の概要

事務事業名	畜産所得向上支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-04-0001 畜産振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H29年)		3年以上
根拠法令	新庄市畜産所得向上支援事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-1-①-6
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	畜産経営体
事業の目的 どのような状態にしたいのか	畜産経営体の所得向上、経営安定、畜産物生産の維持・拡大及びブランド化を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	畜産農業の産出額の増大を目指し、意欲ある畜産経営体等の規模拡大や生産性の向上に向けた取組に対して、予算の範囲内で補助する。 ・補助率 1/2 (牛舎整備：上限5,000万円、機械導入：上限1,000万円)
事業の結果	当初1件の事業予定を年度内の実施は断念したが、飼養頭数は横ばいで推移した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	1,846	2,618	0	0	0	0	
内訳	特定財源	1,539	2,183	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	307	435	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.32	0.24	0.23	0.18	0.2
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	畜産所得向上支援事業交付件数	実績		2	3	0	0	0		5
		達成率		40%	60%	0%	0%	0%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	乳用牛・肉用牛の飼養頭数	実績		1,283	1,224	1,168	1,506	1,536		1,500
		達成率		86%	82%	78%	100%	102%	0%	
説明・出典	農林課調べ									

1. 事務事業の概要

事務事業名	旧最上中部牧場管理運営事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	施設維持管理（補修）事業		
予算区分	06-01-04-0001 畜産振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 平成14年)		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-1-①-7
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> 旧最上中部牧場利用団体協議会（旧最上中部牧場預託利用者会、新庄市和牛改良組合、新庄市酪農研究会） エコもがみ担い手組合
事業の目的 どのような状態にしたいのか	旧最上中部牧場の施設を市内畜産農家が乳牛の預託や採草地の確保といった面で活用することにより、畜産経営の安定化を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	<ul style="list-style-type: none"> 採草地及び施設の維持・管理 ①牧道枝の草刈り、枝払い ②用地や牛舎等施設の利用推進（貸付）
事業の結果	採草地としての利用により、自給飼料の安定確保に寄与している。また牛舎の利用において、乳用牛を預かる預託事業を行っており、畜産経営の安定化に寄与している。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		1,810	2,491	2,285	1,378	1,225	1,283	へい獣保冷库除排雪業務負担金(1,225)
内訳	特定財源	1,097	1,354	878	542	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	713	1,137	1,407	836	1,225	1,283	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.31	0.19	0.18	0.18	0.18
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	維持管理している採草草地面積 (ha)	実績		27	27	27	27	27		27
		達成率		100%	100%	100%	100%	100%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	年平均飼養頭数 (頭：乳用牛(預託含) + 和牛育成)	実績		90	94	73	122	108		110
		達成率		82%	85%	66%	111%	98%	0%	
説明・出典	農林課調べ									

1. 事務事業の概要

事務事業名	畜産団地整備事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	施設等整備事業		
予算区分	06-01-04-0001 畜産振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 令和3年度)		3年以上
根拠法令			

事業コード	4-1-①-8
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	畜産経営組織、畜産経営農業者 (乳用牛、繁殖牛、肥育牛生産者に限定)
事業の目的 どのような状態にしたいのか	持続的な畜産経営を確立するため、後継者となる畜産経営体を育成する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	旧最上中部牧場に畜産団地を整備し、畜産経営に意欲のある農業者を誘致する。
事業の結果	畜産団地への参入を希望する事業者と関係団体（JA、県、畜産の生産部会等）との協議を重ねた。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		0	6,945	0	0	0	0	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	6,945	0	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.26	0.16	0.16	0.16	0.2
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	畜産経営体誘致数	実績		0	0	0	0	0		2
		達成率		0%	0%	0%	0%	0%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	新規畜産事業者数	実績		0	0	0	0	0		5
		達成率		0	0	0	0	0	0	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	肉用繁殖牛集団導入事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-04-0001 畜産振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 S54年)		10年以上
根拠法令	新庄市肉用繁殖牛集団導入事業基金条例施行規則		

事業コード	4-1-①-9
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	繁殖農家
事業の目的 どのような状態にしたいのか	増頭及び繁殖技術の向上を図り繁殖農家の経営基盤安定化を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	市が子牛（繁殖雌牛）を購入し、和牛繁殖農家に4年間貸し付け、4年後に農家に譲渡する。成雌牛を購入した場合は3年間。50万円/頭を上限で超えた場合は超えた分を貸付時に納入してもらう。
事業の結果	飼料価格の高騰等を背景に、厳しい経営環境が続く畜産農家において、本事業が畜産経営におけるコストの大半を占める家畜の導入費用である「もと畜費」の負担軽減に寄与しており、繁殖雌牛を導入する一助となっている。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	0	0	0	0	0	0	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.24	0.2	0.2	0.23	0.1
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	新規貸付頭数	実績		10	12	9	7	12		12
		達成率		83%	100%	75%	58%	100%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	畜産農家飼養の繁殖雌牛頭数	実績		605	580	579	873	850		650
		達成率		93%	89%	89%	134%	131%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	優良子牛認定保留事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-04-0001 畜産振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 平成9年)		10年以上
根拠法令	新庄市優良子牛認定保留支援奨励費支給要領		

事業コード	4-1-①-10
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	畜産農家（肉用牛）
事業の目的 どのような状態にしたいのか	優良な雌子牛を管内畜産農家に保留することにより、増産を図り最上家畜市場の全国公表に達する市場取引頭数を目指し繁殖牛の産地形成を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	新庄市和牛改良組合が取り組む事業（遺伝・交配を駆使した和牛改良のための繁殖雌子牛の購入）に支援・奨励費を支給する。 ・奨励費：1頭あたり5万円（上限額20万円）
事業の結果	優良な繁殖雌牛を管内に保留する一助となっており、優秀な血統の繁殖雌牛の生産に寄与している。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	200	200	200	200	200	200	優良子牛認定保留奨励費（200）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	200	200	200	200	200	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.1	0.14	0.14	0.17	0.1
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	認定保留頭数	実績		29	23	18	14	14		35
		達成率		83%	66%	51%	40%	40%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	最上家畜市場子牛取引頭数	実績		1,702	1,687	1,595	1,554	1,337		2,000
		達成率		85%	84%	80%	78%	67%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄産そば振興事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0001 農業振興行政事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 平成22年)		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-1-①-11
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新庄産そばを求める小売業者、製粉業者、消費者及びそば栽培者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	転作作物として新庄産そば「最上早生」の単収向上や消費拡大。また、本市のそばの認識を高め、地域活性化や観光面での魅力も確立する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	<p>新庄そばまつり実行委員会において、「新庄そばまつり」開催を中心とした振興策を実行・検討していくことで、生産地としての醸成を広げていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そばまつりPRやそば関連イベント、商品開発等を行う ・市民や大消費地へアピールするとともに、農業者を中心とした打ち手の育成を図る ・消費喚起を促し、生産拡大を目指す
事業の結果	新庄産そば「最上早生」を県内外に発信しその認識を広め需要を高めるとともに、そばの生産拡大、産地化定着を目的に、イベントを実施した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	1,430	100	700	900	700	1,200	新庄産そば振興事業負担金
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	1,430	100	700	900	800	1,200

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.72	0.68	0.67	0.33	0.29
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	新庄産そばPRイベント（回）	実績		4	0	1	1	1		6
		達成率		67%	0%	17%	17%	17%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	そばの水田への作付面積 (ha)	実績		400	399	407	453	465		500
		達成率		80%	80%	81%	91%	93%	0%	
説明・出典	農林課調べ									

1. 事務事業の概要

事務事業名	土地利用型作物の生産振興事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	①	農業生産力の強化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0001 農業振興行政事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R3 ）		3年以上
根拠法令	新庄市産地生産基盤パワーアップ事業費補助金交付要綱 新庄市産地生産基盤パワーアップ事業（国産シェア拡大対策（麦・大豆））費補助金交		

事業コード	4-1-①-12
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	農業協同組合・農業法人・農業者団体・農業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	土地利用型作物の高品質・安定生産可能な体制を確立し、計画的な生産による収入の確保及び収益力の向上。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	水稻、大豆等の土地利用型作物の生産コストの低減や生産性向上を目指した施設整備や機械導入等の取り組みに対し、支援する。 補助率：農業機械（R-ス含）の本体価格、生産資材、改修等に係る事業費の1/2以内の額。
事業の結果	事業実施主体が導入した高性能農業機械により、農地集約化による経営規模拡大に備えた作業の効率化を図るとともに、国内需要が高まる大豆の国産化及び国内消費量が減少する米の新たな販路拡大先としての輸出用米の出荷量増加に寄与し、計画的な生産による収入の確保及び、生産量と販売額の増加による農業所得の向上の一助となる支援ができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	17,025	69,580	3,997	8,519	20,941	0	産地生産基盤パワーアップ事業費補助金（20,941）	
内訳	特定財源	17,025	69,580	3,997	8,519	20,941	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	0	産地生産基盤パワーアップ事業費補助金（20,941）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.21	0.26	0.26	0.2	0.15
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	事業実施主体数（年度）	実績		2	4	1	2	7		5
		達成率		40%	80%	20%	40%	140%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	農業生産額（千円）	実績		4,083,811	3,088,389	2,892,179	3,381,136	公開前		4,200,000
		達成率		97%	74%	69%	81%	#VALUE!	0	
説明・出典	米、豆・雑穀類（農業生産状況調査）									

1. 事務事業の概要

事務事業名	6次産業化推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	②	付加価値が高い農産品の生産
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0018 6次産業化推進事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H25 ）		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-1-②-1
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	農業者、食産業事業者、流通事業者、消費者、支援機関
事業の目的 どのような状態にしたいのか	付加価値のある加工食品の開発・販売を進め、農産物原料の需要拡大とともに産業経営の多様化を図る
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	地域農産物を使った加工商品の開発を支援する。
事業の結果	「SHINJO ii-nya FOOD」商品について、新商品の開発を行い販売会及び消費者求評会の開催により、6次産業化の商品力強化に応じた事業を展開し、効果的なPR方法の検討及び商品評価の蓄積が図られた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	1,800	1,600	1,600	1,400	1,000	930	市6次産業化推進協議会負担金(1,000)
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	1,800	1,600	1,600	1,400	1,000	930

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.52	0.22	0.21	0.24	0.24
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	目標販売額を達成した開発商品数	実績		7	8	8	9	9		20
		達成率		35%	40%	40%	45%	45%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	ブランド化商品販売額	実績		4,143,030	4,760,337	4,757,703	5,218,556	5,379,745		4,972,000
		達成率		83%	96%	96%	105%	108%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	食育・地産地消推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	②	付加価値が高い農産物の生産
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0001 農業振興行政事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H22 ）		10年以上
根拠法令	新庄市学校給食食育・地産地消促進事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-1-②-2
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内小中学校生徒及び保護者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	市内学校給食における地場産農産物の利用を拡大する。地域や農作物に対する理解を深め、地元農産物の価値を再認識し、地域を想う心を育む。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	学校給食の地場産農産物の納入について、納入業者と栄養教諭、学校教育課、農林課で意見交換を行う。納入業者や学校と調整し、学校給食における地産地消の取り組みを推進、支援する。あわせて、栄養教諭等と協力し、地場産農産物のPRを図る。
事業の結果	伝承野菜の定植や収穫を体験し、伝承野菜への理解を深めた。また、地産地消によって郷土の意識を高めることに寄与した。生産者、調理師による講話や体験学習を行った。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	1,476	673	562	1,355	844	1,628	学校給食食育・地産地消促進事業費補助金（736）、学校給食米粉パン導入拡大推進事業費補助金（108）	
内訳	特定財源	1,476	673	562	1,355	844	1,628	特定財源の名称（金額） 学校給食食育・地産地消促進事業費補助金（736）、学校給食米粉パン導入拡大推進事業費補助金（108）
	一般財源	0	0	0	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.20	0.14	0.14	0.21	0.19
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	学校給食の地場産農産物納入業者との連絡・調整回数（回）	実績		13	13	13	13	13		20
		達成率		65%	65%	65%	65%	65%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	学校給食での地場産農産物（野菜）の利用率（%）	実績		35	33	32	28	27		45
		達成率		77.8%	73.3%	71.1%	62.2%	60%	0	
説明・出典	使用野菜全体に占める地場産農作物の割合									

1. 事務事業の概要

事務事業名	みどりの食料システム戦略推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	②	付加価値が高い農産品の生産
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0001 農業振興行政事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R4)	3年以上	
根拠法令			

事業コード	4-1-②-3
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	農林水産活動
事業の目的 どのような状態にしたいのか	地域の特色ある農林業や資源を生かした食料システムの構築に向け、モデル事業を展開
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	地域の生産者、事業者、大学・研究機関等と連携して地域ビジョンを策定し、実践するモデル地区を支援する。
事業の結果	昭和地区をモデル地区とし、有機農業の実践に向けた取り組みを行うことにより、農業者だけでなく消費者との交流ができ有機農業への認知度が高まり興味をもっていただくことができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		-	-	0	0	0	0	
内訳	特定財源	-	-	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	0	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	0.27	0.17	0.15	0.1
会計年度職員	-	-	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	有機農業に取り組む農業者の割合	実績	-	-	2%	3%	3%		3%
		達成率	-	-	67%	100%	100%	0%	
説明	昭和地区における農業者の割合								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	有機農産物の販売量（t）	実績	-	-	33	38	39		40
		達成率	-	-	83%	95%	98%	0%	
説明・出典	昭和地区における販売量								

1. 事務事業の概要

事務事業名	鳥獣被害防止対策事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	他	
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0001 農業振興行政事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R2 ）		3年以上
根拠法令	令和6年度新庄市弾薬購入経費支援事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-1-他-1
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	農業者、農地、農作物
事業の目的 どのような状態にしたいのか	被害防止活動によって、鳥獣による農作物への被害が少なくなる。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	地域住民からの目撃情報や被害情報を中心に行う実地調査及びわなの設置のほか、被害防止の一環である花火等を用いた追払いや見回り、捕獲に係るわな購入費用、射撃技術向上を目指した講習会など、「新庄市鳥獣被害防止対策協議会」及び「新庄市鳥獣被害対策実施隊」の各活動に係る費用について支援を行う。（なし）
事業の結果	全国的なクマの出没・被害件数が高止まりしており、本市における件数も高い状況が続いている。農作物における直接的な被害は確認されなかったが、畦畔が崩れたりと間接的な被害は多発していた。また、農作業中にクマ等の大型獣類との遭遇も考えられるため、周囲の安全を確保するための追い払い活動や捕獲活動を集中的に行うことができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	129	174	190	234	217	400	市弾薬購入経費支援事業費補助金（187）	
内訳	特定財源	99	144	160	204	187	400	特定財源の名称（金額）
	一般財源	30	30	30	30	30	0	県弾薬購入経費支援事業費補助金（187）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.17	0.19	0.19	0.2	0.25
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	活動日数（日）	実績		43	47	25	100	109		99
		達成率		43%	47%	25%	101%	110%	0%	
説明	実施隊日誌より									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	農作物にかかる鳥獣被害額（千円）	実績		20	94	111	0	0		0
		達成率		0%	0%	0%	100%	100%		
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	淡水魚増殖事業（旧：水産振興支援事業）		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	他	
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0014 水産振興支援事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H10 ）		10年以上
根拠法令	新庄市淡水魚増殖事業費補助金交付規程		

事業コード	4-1-他-2
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内水産資源
事業の目的 どのような状態にしたいのか	水産資源の個体数減少が抑制される
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	主な放流先は、泉田川、新田川、升形川。最上中部漁業協同組合による稚魚購入、輸送、放流事業に係る経費のうち1/5以内の額（上限15万円）を市補助金として交付
事業の結果	淡水魚の放流により、良好な内水面環境づくりに寄与。また、放流事業を市内の小中学校との学習交流の場とし、小学生への水産振興学習の一助となる支援が行えた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	100	100	100	100	100	100	淡水魚放流事業補助金（100）
内訳	特定財源	25	25	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	75	75	100	100	100	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.14	0.13	0.13	0.12	0.03
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	最北中部漁業協同組合の放流事業費（千円）	実績		621	612	626	635	612		850
		達成率		73%	72%	74%	75%	72%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	放流魚数（匹）	実績		29,550	29,550	29,550	29,550	29,550		56,000
		達成率		53%	53%	53%	53%	53%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	市民農園管理運営事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	1	農業経営の持続的な発展
	小施策	他	
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0002 市民農園管理運営事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H2)	10年以上	
根拠法令	新庄市民農園設置及び管理に関する条例他		

事業コード	4-1-他-3
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業・農作物への理解が増え、地産地消に結びつく。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	農地を持たない市民に、農地（畑）を貸与する。 （広報（お知らせ版））
事業の結果	利用希望者36名に74区画を貸し出した。 利用者の農業への理解が進み、地産地消の拡大に寄与した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	433	434	424	465	447	478	市民農園土地借上料（340）	
内訳	特定財源	243	264	250	240	222	240	特定財源の名称（金額）
	一般財源	190	170	174	225	225	238	市民農園使用料（222）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.19	0.19	0.19	0.25	0.23
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	貸与区画数	実績		82	88	84	80	74		120
		達成率		68%	73%	70%	67%	62%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	利用継続5年以上利用者数	実績		41	41	34	28	22		60
		達成率		68%	68%	57%	47%	37%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	新規就農者経営開始資金事業（旧：農業次世代人材投資資金事業）		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	①	担い手の育成・支援
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0013 担い手総合支援対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H29 ）		3年以上
根拠法令	新規就農者育成総合対策実施要綱、新庄市新規就農者経営開始資金交付要綱		

事業コード	4-2-①-1
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	認定新規就農者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	経営開始後間もない認定新規就農者の経営の安定を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	認定新規就農者に対し、年間最大150万円を最長5年間（令和3年度以降採択者は1～3年目150万円、4～5年目120万円）農業次世代人材投資資金を交付する。 令和4年度以降は年間150万円を最長3年間、経営開始資金を交付する。 （要件） 人・農地プランに中心経営体として位置づけられていること（R7からは地域計画に位置づけられていること） 前年の世帯所得が600万円以下であること 等 （周知方法該当者へ電話連絡等）
事業の結果	次世代を担う農業者へ対し、就農直後の経営確立のための資金を交付することにより経営の安定が図られた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	21,000	15,468	11,250	14,138	12,750	13,500	新規就農者経営開始資金、農業次世代人材投資資金（交付金12,750）	
内訳	特定財源	21,000	15,468	11,250	14,138	12,750	13,500	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	0	（県）山形県農業次世代人材投資事業費補助金(3,000) （県）山形県新規就農者育成総合対策事業（経営開始資金）費補助金(9,750)

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.22	0.23	0.23	0.19	0.19
会計年度職員	-	0.1	0.1	0.1	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	新規に認定した青年等就農計画（経営体数）	実績		3	0	3	4	5		5
		達成率		60%	0%	60%	80%	100%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	収支計画の目標（所得）を達成している資金の交付対象者の割合（%）	実績		21.4	35.7	9	25	0		70
		達成率		31%	51%	13%	36%	0%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	新規就農支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	①	担い手の育成・支援
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0013 担い手総合支援対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R3 ）		3年以上
根拠法令	新庄市新規就農支援事業補助金交付要綱		

事業コード	4-2-①-2
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	認定新規就農者 （新庄市青年等就農計画審査会で計画の認定を受けた者）
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新規就農者の育成及び定着を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	新規就農した者の農地の確保及び農業機械・施設の導入を予算の範囲内で支援する。 ・農地の確保：10アールあたり10,000円を上限 ・農業用機械・施設の導入：青年等就農計画に基づく農業用機械等の導入経費の1/2（100万円を上限） （周知方法：該当者へ電話連絡等）
事業の結果	認定新規就農者へ補助金を交付し、青年等就農計画（市からの認定を受けた計画）に掲げる所得目標に近づいた。また、認定新規就農者として新たに4名を認定した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		1,165	1,240	1,525	4,856	6,000	新規就農支援事業補助金(4,856)
内訳	特定財源		0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	1,165	1,240	1,525	4,856	6,000

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.13	0.13	0.13	0.25	0.25
会計年度職員	-	0.1	0.1	0.1	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	就農相談件数	実績		3	4	7	11	7		10
		達成率		30%	40%	70%	110%	70%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	認定新規就農者数（経営体数）	実績		3	0	3	4	5		10
		達成率		30%	0%	30%	40%	50%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	人・農地プラン推進中心経営体モデル事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	①	担い手の育成・支援
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0013 担い手総合支援対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)		3年以上
根拠法令	新庄市人・農地プラン推進中心経営体モデル事業補助金交付要綱		

事業コード	4-2-①-6
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	実質化された人・農地プランに位置付けられた中心経営体（認定農業者、認定新規就農者）
事業の目的 どのような状態にしたいのか	地域農業の担い手の育成・確保を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	人・農地プランに位置付けられた中心経営体が農地を借り受け、経営規模を拡大するために必要な農業用機械等の導入を予算の範囲内で支援する。 ・補助率1/4（上限100万円）
事業の結果	人・農地プランの中で、中心的経営体として位置付けられている4経営体へ、営農に資する機械導入に補助をして営農の効率化を図ることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		0	0	0	2,576	2,000	市人・農地プラン推進中心経営体モデル事業補助金（2,576）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	2,576	2,000	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.13	0.13	0.08	0.23	
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	実質化された人・農地プランに位置付けられた中心経営体数（延べ数）	実績		65	523	523	523	523		450
		達成率		14%	116%	116%	116%	116%	0%	
説明	(農林課調べ)									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	担い手への農地集積率（%）	実績		79.5	79.6	79.1	78.4	72.9		80
		達成率		99%	100%	99%	98%	91%	0%	
説明・出典	担い手の農地利用集積状況調査より（農林課調べ）									

1. 事務事業の概要

事務事業名	経営継承・発展等支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	①	担い手の育成・支援
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0013 担い手総合支援対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R4 ）		3年未満
根拠法令			

事業コード	4-2-①-7
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	中心経営体である先代事業者からその経営に関する主宰権の移譲を受けた後継者（経営発展計画の策定、青色申告等が要件）
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業者の一層の高齢化が急速に進行する中、将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体を確保する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	経営発展計画の作成を支援するとともに、地域農業の担い手（中心経営体）から農業経営を継承し、発展するための取組を支援（上限100万円（国1/2、市1/2））する。 ■経営発展計画（①法人化、②新たな品種・部門等の導入、③認証取得、④データ活用経営、⑤就業規則の策定、⑥経営管理の高度化、⑦就業環境の改善、⑧外部研修の受講、⑨販路開拓、⑩新商品開発、⑪省力化・業務に効率化、⑫品質の向上、⑬規格等の改善、⑭防災・減災の導入） （周知方法：農業日より）
事業の結果	農業日よりやHPを活用し事業を周知した。相談は何件か寄せられたが要件を満たすことができず、事業の活用はなかった。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	-	-	0	0	0	0	
内訳	特定財源	-	-	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	0.13	0.13	0	0
会計年度職員	-	-	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	経営発展計画の策定者数	実績	-	-	0	0	0	0	0	1
		達成率	-	-	0%	0%	0%	0%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	経営発展計画の成果目標達成率	実績	-	-	0	0	0	0	0	80
		達成率	-	-	0	0	0	0	0	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	農地利用効率化等支援交付金事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	①	担い手の育成・支援
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-03-0013担い手総合支援対策事業		
事業継続年数	（事業開始年度 R4 ）		
根拠法令	新庄市農地利用効率化等支援交付金交付要綱		

事業コード	4-2-①-8
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	人・農地プランに位置付けられた経営体
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農地を将来にわたり持続的に利用すると見込まれる農業者による農業振興
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	人・農地プランに位置付けられた経営体が、地域が目指すべき将来の集約化に重点を置いた農地利用の姿に基づき、持続的に農業を行うための生産の効率化に取り組む場合に必要となる農業用機械・施設の導入を支援する。 補助率：国3/10以内（上限300万円） （周知方法：農業だより）
事業の結果	追加募集分もあわせて、計画を上回る採択を得ることができ、将来的な農地の集約化や農地利用の効率化が推進されると期待できる。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	-	-	9,786	8,992	6,493	12,000	令和6年度新庄市農地利用効率化等支援事業費補助金 6,493千円
内訳	特定財源	-	9,786	8,992	6,493	12,000	特定財源の名称（金額） 令和6年度山形県農地利用効率化等支援事業費補助金(国) 6,493千円
	一般財源	-	0	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	0.13	0.23	0.23	0.23
会計年度職員	-	-	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	制度申請農業者数（経営体）	実績	-	-	13	13	9		10
		達成率	-	-	130%	130%	90%	0%	
説明	（農林課調べ）								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	事業採択件数（件）	実績	-	-	5	7	5		3
		達成率	-	-	167%	233%	167%	0%	
説明・出典	（農林課調べ）								

1. 事務事業の概要

事務事業名	移住就農推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	①	担い手の育成・支援
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-01-03-0020 移住就農推進事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R5 ）	3年未満	
根拠法令			

事業コード	4-2-①-12
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	三大都市圏等に居住し、本市での就農を検討している移住希望者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	本市での就農を目的とし、移住し、長期的に定住できている状態
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	着任した地域おこし協力隊員は農林大学校や本市農家で本格的な就農に向けた研修を受講し、また県内外で先進的な営農を実践している農家への視察を行った。なお、今後移住就農を希望する人のニーズ把握や本市の受入体制の情報把握及び情報発信を各種移住フェアに参加し、周知を図っている。
事業の結果	本市で本格的な就農を目指し1人が移住し、今後の定住に向けた地域ネットワークづくりや生計を立てていくための準備をすることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		-	-	-	4,615	4,391	5,038	報酬（2,520）、職員手当等（494）、共済費（525）、その他（852）
内訳	特定財源	-	-	-	0	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	-	4,615	4,391	5,038	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	-	0.13	0.16	0.1
会計年度職員	-	-	-	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	移住就農者の研修受入先農家数（戸）	実績	-	-	-	1	1		5
		達成率	-	-	-	20%	20%	0%	
説明	（農林課調べ）								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	移住就農者数（人）	実績	-	-	-	1	1		2
		達成率	-	-	-	50%	50%	0%	
説明・出典	（農林課調べ）								

1. 事務事業の概要

事務事業名	生産組合等運営支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	②	多様な農業経営体の育成・支援
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-06-0001 水田農業経営確立対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H23 ）		3年以上
根拠法令	新庄市生産組合運営費等補助金交付要綱		

事業コード	4-2-②-1
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	大豆、そば、飼料作物の生産を行う集落営農や生産組合
事業の目的 どのような状態にしたいのか	県農業再生協議会から示された米の生産の目安を達成するとともに、大豆、そば、飼料作物の作付面積の拡大と生産性の向上を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	大豆、そば、飼料作物の生産を行う集落営農、生産組合等の生産活動や運営に要する経費に対し、予算の範囲内で補助 ○生産組合の運営に要する経費の補助・生産組合等の構成員数【1人あたり5,000円】 ・大豆、そば、飼料作物の生産拡大面積【10aあたり5,000円】 ○簡易な排水対策経費の補助【10aあたり5,000円】 ○共同利用機械購入経費の補助【3/10 150万円上限】 （各集落営農及び生産組織へ個別に案内）
事業の結果	水田畑地化事業の影響もあり、生産組合として効率的作業が実施できたことで取組面積が増加した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	6,346	8,439	11,000	5,883	8,961	9,000	補助金（8,961）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	6,346	8,439	11,000	5,883	8,961	9,000

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.33	0.43	0.23	0.28	0.23
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	生産組合の構成員数（人）	実績		758	720	713	730	737		700
		達成率		108%	103%	102%	104%	105%	0%	
説明	（農林課調べ）									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	大豆、そば、飼料作物の作付面積（ha）	実績		879	883	857	785	958		1000
		達成率		88%	88%	86%	79%	96%	0%	
説明・出典	（農林課調べ）									

1. 事務事業の概要

事務事業名	水田農業経営確立対策事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	③	農業経営の安定化
事業区分	ソフト事業（義務）		
予算区分	06-01-06-0001 水田農業経営確立対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H16 ）		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-2-③-1
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	水田を持っている（耕作している）農業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	県農業再生協議会から示された米の生産の目安を達成する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	新庄市農業再生協議会（事務局は農林課）が、転作作物や転作面積を確認し、農業者個人や生産組織などの取組形態ごとに、作付面積に応じて国から交付される助成金等の交付申請について指導・取りまとめを行う。 （助成金交付申請対象へは、個別に案内）
事業の結果	生産の目安2,694haに対し、主食用米作付面積は約2,598haとなり、生産の目安を達成することができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	10,065	9,704	10,618	10,632	9,790	9,790	経営安定対策等推進事業費補助金（9,080）、米需給調整推進費補助金（710）	
内訳	特定財源	10,065	9,704	10,618	10,632	9,790	9,790	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	0	経営安定対策等推進事業費補助金（9,080）、米需給調整推進費補助金（710）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		1.7	1.8	1.62	1.26	1.43
会計年度職員		0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	県農業再生協議会から示された米の生産の目安（ha）	実績		2863	2823	2666	2674	2694		-
		達成率		-	-	-	-	-	-	
説明	（農林課調べ）									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	米の生産の目安の達成度（%）	実績		100.4	103.4	102.3	104.9	103.6		100
		達成率		100%	103%	102%	105%	104%	0%	
説明・出典	（農林課調べ）									

1. 事務事業の概要

事務事業名	農業金融対策事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	③	農業経営の安定化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-06-0003 農業金融対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H7)		10年以上
根拠法令	新庄市農業経営基盤強化資金利子助成補助金交付要綱		

事業コード	4-2-③-4
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	農業を営む個人・任意団体・法人等
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業者が経営改善を図るために借り入れた資金について、借入者または融資機関に対して貸付金の利子補給を行うことにより、償還負担の軽減を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	金融機関からの書類を受けて、資金の種類によって県または市が審査会に諮り、意見聴取を行う。県・市は金融機関の貸付決定を受けて、個々の資金ごとに利子補給を行う。
事業の結果	農業者の負担を軽減することで、事業の継続に寄与することができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	0	374	150	124	84	61	農業経営基盤強化資金利子助成補助金（78）	
内訳	特定財源	0	187	76	64	43	30	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	187	74	60	41	31	県農業経営基盤強化資金利子助成補助金(39) 県災害・経営安定対策資金利子補給補助金(4)

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.12	0.13	0.08	0.15	0.04
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	利子補給制度資金の借受件数（件）	実績		3	4	8	4	4		-
		達成率		-	-	-	-	-	-	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	資金の利子補給件数（件）	実績		25	23	19	15	12		-
		達成率		-	-	-	-	-	-	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	麦・大豆生産技術向上事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	③	農業経営の安定化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	一般会計（06-01-03-0001 農業振興行政事業費）		
事業継続年数	（事業開始年度 R5 ）		3年未満
根拠法令	新庄市麦・大豆生産技術向上事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-2-③-5
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	麦・大豆の生産性向上を目的とした先進的な営農技術と機械・施設の導入を試みた農業者、農業者の組織する団体、民間事業者又は地域再生協議会。
事業の目的 どのような状態にしたいのか	収量・品質の安定化、生産コストの低減を図り、麦・大豆の需要に応じた生産拡大と収益性・生産性の向上を実現する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	水田における麦・大豆の生産性向上を目的とした先進的な営農技術の取組に対する支援を行う。 先進的な営農技術の導入 導入技術に応じて2～10千円/10a
事業の結果	先進的な技術の導入により収量の安定、団地化率の向上が見られた。

3. 事業費（単位：千円）

年度		R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費		-	-	-	2,786	0	0	
内訳	特定財源	-	-	-	2,786	0		特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	-	0	0		

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	-	0.2	0.2	0.2
会計年度職員	-	-	-	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	大豆の団地化率（%）	実績		19.8	21.76	31.8	38.6	41.3		37
		達成率		54%	59%	86%	104%	112%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	大豆の作付面積（ha）	実績		41	46	44	51	57		60
		達成率		68%	77%	73%	85%	95%	0	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	畑地化促進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	2	意欲ある農業者の育成・確保
	小施策	③	農業経営の安定化
事業区分	ソフト事業（義務）		
予算区分	06-01-06-0001 水田農業経営確立対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R5 ）		3年未満
根拠法令	畑地化促進事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-2-③-5
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	水田を畑地化し、高収益作物や畑作物等の生産に取り組む農業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	将来的な食糧事情を見通し、主食用米を作付けする田と高収益作物や畑作物を作付けする畑が本市の農業事情と照らし合わせバランスの取れた状態。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	各土地改良区の受益地内で畑地化された面積に応じ、地権者等が支払わなければならない土地改良区協力金等について、新庄市農業再生協議会（事務局：農林課）が負担し、その支援として補助金を交付し、畑地化の促進した。（農業だより等）
事業の結果	水田から畑地化された面積は19,866aであり、今後の高収益作物等の生産環境が整備された。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	-	-	-	79,119	24,461	0	畑地化促進事業費補助金 （24,461）
内訳	特定財源	-	-	79,119	24,461		特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	-	0	0		畑地化促進事業費補助金 （24,461）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	-	0.67	0.61	0.72
会計年度職員	-	-	-	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	畑地化に係る関係各機関との 合意形成の機会	実績	-	-	-	2	1		2
		達成率	-	-	-	100%	50%	0%	
説明	（農林課調べ）								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	畑地化面積	実績	-	-	-	19,866	7114		30,000
		達成率	-	-	-	66%	24%	0%	
説明・出典	（農林課調べ）								

1. 事務事業の概要

事務事業名	中山間地域等直接支払事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	①	農村環境の整備と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-06-0008 中山間地域等直接支払事業		
事業継続年数	（事業開始年度 H13 ）		10年以上
根拠法令	新庄市中山間地域等直接支払交付金交付要綱		

事業コード	4-3-①-1
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	田で20分の1以上、畑・草地など15度以上の傾斜農地が1ha以上連担している集落（新庄市は知事特認による特認地域）
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業の生産条件が不利な中山間地域において、耕作放棄の発生を防止し、水源涵養などの多面的機能の確保を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	各地区の協定内容に則し、草刈等の維持管理、農道や水路等の施設整備を実施する活動組織に交付金を交付する。（ホームページでの周知）
事業の結果	高齢化が進む現状において、中山間地域等の耕作放棄地の防止や生産活動の維持に活用されており、農村がもつ多面的機能が発揮されている。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	16,267	16,350	16,337	16,347	16,183	14,565	中山間地域等直接支払交付金（16,183）	
内訳	特定財源	10,831	10,871	10,879	10,871	10,788	9,785	特定財源の名称（金額）
	一般財源	5,436	5,479	5,458	5,476	5,395	4,780	中山間地域等直接支払交付金（10,788）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.28	0.28	0.28	0.2	0.26
会計年度職員	-	-	-	-	-	-

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	協定締結地区	実績		13	13	13	13	13		14
		達成率		93%	93%	93%	93%	93%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	農地維持管理面積（ha）	実績		105	105	105	105	105		115
		達成率		91%	91%	91%	91%	91%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	多面的機能支払事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	①	農村環境の整備と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-05-0013 多面的機能支払事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H27 ）		3年以上
根拠法令	新庄市多面的機能支払交付金交付要綱		

事業コード	4-3-①-2
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手以外も含めた多様な主体が参画する地域共同体（地域住民で組織する活動組織、必ず農業者以外の組織等を含む） ・農地や農業用水施設等の資源
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業・農村の有する多面的機能が今後も維持・発揮されるとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を目指す。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	農地や水資源の果たしている役割や機能（多面的機能）を高める共同活動に対し交付金を交付する。①地域資源の基礎的な保全活動等を行う（農地維持支払交付金）。②施設の軽微な補修、農村環境保全活動等を行う（資源向上支払交付金（共同活動））。③老朽化が進む施設の補修、更新等を行う（資源向上支払交付金（施設の長寿命化））。（ホームページでの周知）
事業の結果	各地区で活動組織を形成し、その組織が主体性をもって地区の農用地、水路、農道などの維持・保全活動を行う本事業は、遊休農地の解消や地域の連携強化に役立っている。農業従事者の高齢化が進む現状にあって、有効かつ重要な役割を担っている。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	295,016	296,442	299,082	284,484	271,937	359,792	多面的機能支払交付金(271,813)、需用費(94)、役務費(30)	
内訳	特定財源	222,926	222,691	224,218	213,378	203,984	269,899	特定財源の名称（金額）
	一般財源	72,090	73,751	74,864	71,106	67,953	89,893	山形県多面的機能支払交付金(203,984)

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.68	0.68	0.68	0.79	0.71
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	共同活動取り組み組織数（団体）	実績		35	35	35	35	35		36
		達成率		97%	97%	97%	97%	97%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	高度保全農用地面積（ha）	実績		4281	4281	4281	4287	4262		4500
		達成率		95%	95%	95%	95%	95%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	環境保全型農業直接支払事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	①	農村環境の整備と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-05-0012 環境保全型農業直接支払対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H25 ）		10年以上
根拠法令	新庄市環境保全型農業直接支払交付金交付要綱		

事業コード	4-3-①-3
担当部署	262

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者グループ。
事業の目的 どのような状態にしたいのか	取組主体数の増加を図り、取組面積が増加することで、生物多様性の保全や水質の改善効果など、地域環境の改善・向上を推進する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	<p>農業者等が地球温暖化防止を目的とした、農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合に支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そば、雑穀の有機農業 10アール当たり3,000円 ・それ以外の有機農業 10アール当たり12,000円 等
事業の結果	農業生産に由来する環境への負担をできる限り低減した生産方式への転換を図り、化学肥料や農薬など化学的に合成された資材の使用量を低減する「環境保全型農業」が推進された。また、有機農業の取り組みを行う農業者が増加し、令和4年度より取り組みが行われた「みどりの食料システム戦略」内の「有機農業産地づくり事業」の一助となる支援が行えた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	8,722	9,486	11,128	12,072	12,693	7,732	環境保全型農業直接支払交付金 (12,684)	
内訳	特定財源	6,544	7,117	8,348	9,057	9,512	5,800	特定財源の名称（金額）
	一般財源	2,178	2,369	2,780	3,015	3,181	1,932	環境保全型農業直接支払交付金 (9,512)

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.15	0.22	0.05	0.19	0.19
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	取組主体数（件）	実績		11	12	14	16	17	17	12
		達成率		92%	100%	117%	133%	142%	142%	
説明	農林課調べ									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	取組面積（ha）	実績		159	180	193	223	238	160	174
		達成率		91%	103%	111%	128%	137%	92%	
説明・出典	農林課調べ									

1. 事務事業の概要

事務事業名	水利施設管理強化事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	①	農村環境の整備と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-05-0009 水利施設管理強化事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H13)		10年以上
根拠法令	水利施設管理強化事業実施要綱、山形県水利施設管理強化事業費補助金交付要綱、新庄市水利施設管理強化事業費補助金交付規程		

事業コード	4-3-①-7
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	国営造成施設を管理する新庄土地改良区、泉田川土地改良区
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業水利施設が有している、農業生産面以外の多面的機能を発揮する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	施設の維持管理及び防災機能の強化のため、土地改良区に補助を行う。
事業の結果	補助により農業水利施設の維持管理及び防災機能の強化が図られた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	8,872	8,805	8,831	10,262	11,441	11,784	水利施設管理強化事業費補助金（11,441千円）	
内訳	特定財源	6,651	6,605	6,624	7,697	8,580	8,837	特定財源の名称（金額）
	一般財源	2,221	2,200	2,207	2,565	2,861	2,947	令和6年度山形県水利施設管理強化事業費補助金（8,580千円）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.1	0.1	0.15	0.27	0.39
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	管理している国営造成施設数（施設）	実績		10	10	10	10	10		10
		達成率		100%	100%	100%	100%	100%	0%	
説明	うち管理体制分10施設									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	受益面積（ha）	実績		5,045	5,045	5,045	5,045	5,045		5,045
		達成率		100%	100%	100%	100%	100%	0%	
説明・出典	第3期対策～：新庄地区3,120ha,泉田川地区1,925ha									

1. 事務事業の概要

事務事業名	県営基幹水利施設管理事業負担金		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	①	農村環境の整備と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-01-05-0002 県営土地改良事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H10 ）		10年以上
根拠法令	新庄市土地改良事業農家負担軽減対策補助金交付規程		

事業コード	4-3-①-8
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	県営基幹水利施設を管理する新庄土地改良区、泉田川土地改良区
事業の目的 どのような状態にしたいのか	県営基幹水利施設の管理運営を安定する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	県営基幹水利施設の維持管理に要する費用を負担し、農家負担の軽減を図る。（なし）
事業の結果	負担金により、基幹水利施設（ダム・頭首工等）の維持管理が図られた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	13,078	12,457	13,504	19,387	21,115	21,600	県営基幹水利施設管理事業負担金（21,115千円）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	13,078	12,457	13,504	19,387	21,115	-

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.1	0.1	0.1	0.08	0.33
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	管理している県営基幹水利施設数（施設）	実績		9	9	9	9	9		9
		達成率		100%	100%	100%	100%	100%	0%	
説明	うち基幹水利管理分9施設									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	受益面積（ha）	実績		5,286	5,286	5,286	5,286	5,286		5,286
		達成率		100%	100%	100%	100%	100%	0%	
説明・出典	新庄地区3,120ha,泉田川地区2,166ha									

1. 事務事業の概要

事務事業名	ため池廃止事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	①	農村環境の整備と保全
事業区分	施設等整備事業(補助金・負担金)		
予算区分	06-01-05-0011 農業水路等長寿命化・防災減災事業		
事業継続年数	(事業開始年度 R5)	3年未満	
根拠法令	土地改良法91条		

事業コード	4-3-①-10
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	吉沢小堤、雨水ため池
事業の目的 どのような状態にしたいのか	需要のないため池の、決壊による水害及びその他の災害を防止するため、貯水機能を喪失させ災害防止を図る
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	ため池廃止工事
事業の結果	豪雨時の災害防止に繋がった

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	—	—	—	10,012	11,117	59,000	吉沢小堤排水路整備工事 (11,117千円)
内訳	特定財源	—	—	10,012	11,117	59,000	特定財源の名称（金額）
	一般財源	—	—	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	-	0.25	0.28	0.38
会計年度職員	-	-	-	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	ため池数	実績		0	0	0	1	1	2	2
		達成率		0%	0%	0%	50%	50%	100%	
説明	2ため池									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	換算進捗率（千円）	実績		0	0	0	10,012	21,129	80,129	130,000
		達成率		0%	0%	0%	8%	16%	62%	
説明・出典	事業費									

1. 事務事業の概要

事務事業名	農業交流施設維持管理事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	①	農村環境の整備と保全
事業区分	施設維持管理（補修）事業		
予算区分	06-01-08-0001 農村環境改善センター管理事業費 06-01-09-0001 昭和活性化センター管理事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 S61)		10年以上
根拠法令	新庄市農村環境改善センター設置及び管理に関する条例 新庄市昭和活性化センター設置及び管理に関する条例		

事業コード	4-3-①-11
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	施設を利用する市民、団体等
事業の目的 どのような状態にしたいのか	農業経営の研修及びスポーツ等を通じて地域の連帯感を醸成する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	農業経営の研修及びスポーツ等の場の提供。使用申請のあった場合に施設を開館し、日直・夜間業務で対応する。維持管理は農林課で実施する。 (HP、施設利用調整会議)
事業の結果	農村環境改善センター及び昭和活性化センターについて、今後の利活用の検討を継続しつつ、適当な維持管理が実施できている。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	4,003	5,426	5,458	8,751	4,690	5,259	農村環境改善センター管理事業費（1,547） 昭和活性化センター管理事業費（3,143）	
内訳	特定財源	47	235	131	193	78	84	特定財源の名称（金額）
	一般財源	3,956	5,191	5,327	8,558	4,612	5,175	農村環境改善センター使用料（0） 昭和活性化センター使用料（78）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.22	0.22	0.2	0.16	0.18
会計年度職員	-	0.2	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	施設利用件数（件）	実績		214	640	503	484	250		400
		達成率		54%	160%	126%	121%	63%	0%	
説明	改善センター及び活性化センターの利用件数									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	農業経営の研修及びスポーツ等への参加人数（人）	実績		1924	6968	5218	5425	3665		9000
		達成率		21%	77%	58%	60%	41%	0%	
説明・出典	改善センター及び活性化センターの延利用者数									

1. 事務事業の概要

事務事業名	森林環境譲与税関連事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	②	森林の活用と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-02-01-0001 林業振興行政事業		
事業継続年数	(事業開始年度 R1)		3年以上
根拠法令	新庄市森林整備推進事業補助金交付要綱		

事業コード	4-3-②-1
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	管理が行き届いていない森林
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄市内の森林の所有が明確化され、管理が行き届いている状態
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	<ul style="list-style-type: none"> 管理が行き届いていない森林の所有者へ対して、今後の森林管理についての意向を調査し、林業事業体と連携しながら森林整備を行っていく。 森林管理を推進する為、市内の林道を整備する。 私有林整備を行い事業体に対し、補助金の嵩上げを実施する。 (広報誌、HP、森林所有者意向調査、林業事業体への事業説明)
事業の結果	林道（山屋線）及び森林整備について、それぞれ年度計画のとおりに進めることができた。森林管理制度に基づく意向調査を実施し、森林所有者の今後の森林管理に関する意向を確認することができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	6,199	9,467	15,261	18,121	15,180	18,326	林道山屋線工事 (6,564)
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	6,199	9,467	15,261	18,121	15,180	18,326

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.1	0.24	0.31	0.04	0.38
会計年度職員	-	0	0	0	0	0.2

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	森林整備事業数（間伐等）	実績		0	2	2	2	2		2
		達成率		0%	100%	100%	100%	100%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	森林環境譲与税による森林整備実施面積（累計 ha）	実績		0	8.02	14.17	22.35	31.86		33.7
		達成率		0%	24%	42%	66%	95%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	美しい森林づくり基盤整備交付金事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	②	森林の活用と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-02-01-0009 美しい森林づくり基盤整備事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 平成20年度)		10年以上
根拠法令	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法、美しい森林づくり基盤整備交付金交付要綱・実施要綱・実施要領、新庄市美しい森林づくり基盤整備交付金		

事業コード	4-3-②-3
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	森林所有者、森林組合、森林事業体等
事業の目的 どのような状態にしたいのか	民有林の間伐を促進し、森林の多面的機能の維持・増進を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	特定間伐等促進計画で指定した区域で行われる森林整備事業（間伐・森林作業道整備等）の経費について、交付金交付をする（国庫補助 50%）。
事業の結果	「美しい森林づくり基盤整備交付金事業計画」（R3~12）に基づく事業展開を行うことができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	1,848	7,636	4,264	5,774	6,406	7,296	美しい森林づくり基盤整備交付金（7,296）	
内訳	特定財源	1,848	5,616	4,264	5,774	6,406	7,296	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	2,020	0	0	0	0	国）美しい森林づくり基盤整備交付金（7,296）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.1	0.1	0.1	0.05	0.23
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	交付・補助金額（千円）	実績		1,848	5,616	4,264	5,774	6,406		8,197
		達成率		23%	69%	52%	70%	78%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	累計間伐面積（ha）	実績		9.89	17.91	24.06	32.24	41.97		54.52
		達成率		18%	33%	44%	59%	77%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	森づくり推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	②	森林の活用と保全
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-02-01-0005 森づくり推進事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H19 ）		10年以上
根拠法令			

事業コード	4-3-②-4
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市民(市内小・中義務教育学校の生徒等)
事業の目的 どのような状態にしたいのか	森林及び自然環境の保全の大切さや森林をフィールドにした多様な遊びを通じた学びの場を提供することで、市民の森林に対する理解や関心を深めていく。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	陣峰市民の森での森林学習の推進や自然環境の保全活動、県産材の利活用の推進について、学校や地域住民と協働により実施する。（ホームページ・広報紙等）
事業の結果	森づくり体験活動の実施及び、県産材の活用（陣峰市民の森への階段設置）を行うことで、市民への森林保全活動の啓発を図ることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	1,609	1,709	1,545	1,530	1,354	2,940	委託料（591）、謝金（429）	
内訳	特定財源	1,609	1,709	1,545	1,530	1,354	2,940	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	0	みどり豊かな森林環境づくり推進事業費補助金（1,354）

4. 人員（単位：人）

0.2

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.3	0.3	0.21	0.15	0.25
会計年度職員	-	0	0	0	0	0.2

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	森づくり事業数（件）	実績		3	4	4	4	4		4
		達成率		75%	100%	100%	100%	100%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	森づくり事業参加者数（人）	実績		1378	376	2816	2804	732		1000
		達成率		138%	38%	282%	280%	73%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄市みどり推進協議会運営事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	②	森林の活用と保全
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	06-02-01-0001 林業振興行政事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H13)		10年以上
根拠法令	新庄市みどり推進協議会規約		

事業コード	4-3-②-5
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市民、関係団体
事業の目的 どのような状態にしたいのか	「緑の募金」活動を通して森林の整備や緑化の推進の意義に対する市民の理解と認識を深め、緑豊かなまちづくりにつなげる。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	「緑の募金」に係る本市における窓口として「新庄市みどり環境推進協議会」の事務局を担い、やまがた森林と緑の推進機構より交付される緑の募金を原資とする交付金を活用し、市内小中・義務教育学校等の緑化活動を行う団体の活動支援を行う。（ホームページ・町内回覧等）
事業の結果	市内小中・義務教育学校への緑化活動支援（園芸用品・花苗・種・環境用書籍等の購入）により、児童・生徒等による校舎内外の環境の整備や、栽培活動を通して児童・生徒等の環境保全に対する意識の向上を図ることができた。また幼稚園・保育所へ花苗を提供し、植栽・世話・鑑賞等の機会を通し命あるものを敬い、大切にすることを育むことができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	0	0	0	0	0	0	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.26	0.21	0.33	0.32	0.11
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	募金活動回数	実績		2	2	2	2	2		2
		達成率		100%	100%	100%	100%	100%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	活動支援団体及び地域数 (件)	実績		21	24	24	22	21		24
		達成率		88%	100%	100%	92%	88%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	陣峰市民の森維持管理事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	②	森林の活用と保全
事業区分	施設維持管理（補修）事業		
予算区分	06-02-01-0003 陣峰市民の森維持管理事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 S58 ）		10年以上
根拠法令	新庄市陣峰市民の森設置及び管理に関する条例		

事業コード	4-3-②-6
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	陣峰市民の森及びその利用者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	陣峰市民の森の各種整備や保全活動を行い、利用者の安全確保及び余暇活動の充実を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	枯損木や支障木の伐採や倒木の除去の樹木の維持管理や駐車場・トイレ・側溝の清掃、広場や遊歩道の草刈りを実施し、利用者が快適に利用できる環境を整備する。（市HPにて適宜周知を図っている。）
事業の結果	4月のオープン時より林道を開放し自動車の乗り入れを可能にしたことで、利便性が向上し来場者の増加につながった。使用シーズン（4～10月）をとおした管理（遊歩道のパトロール・草刈り・枝払い）を行い、利用者の安全を確保することができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	803	897	1,302	958	848	1,039	陣峰市民の森維持管理及び清掃業務委託（505千円）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	803	897	1,302	958	848	1,039

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.22	0.22	0.35	0.21	0.28
会計年度職員	-	0	0	0	0	0.5

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	整備実働日数	実績	184	171	169	172	169		169
		達成率	109%	101%	100%	102%	100%	0%	
説明	会計年度職員1名あたりの実働日数の合計×0.65×2（人）								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	整備管理面積（ha）	実績	49.04	49.04	49.04	49.04	49.04		49.04
		達成率	100%	100%	100%	100%	100%	0%	
説明・出典	整備管理面積								

1. 事務事業の概要

事務事業名	山の幸振興対策支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	3	農林環境の保全
	小施策	②	森林の活用と保全
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	06-02-01-0012 山の幸振興対策支援事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)		3年以上
根拠法令	山形県山の幸振興対策支援事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-3-②-7
担当部署	農林課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	森林組合・農業協同組合・農業法人等
事業の目的 どのような状態にしたいのか	やまがた山菜・きのこブランド化戦略に基づく山菜の生産供給体制の構築や労働力の確保などを支援することを通して、中山間地域における農業所得の向上や農地保全、地域の活性化を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	山村における貴重な収入源である特用林産物の生産振興を主体として、生産者の収入確保と地域の活性化を目指し、生産基盤、生産施設及び販売施設の整備を行うために要する経費に対して補助金を交付する。（なし）
事業の結果	各農協等で要望がなかったため、実施していない。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	2,156	16	33	34	0	0	
内訳	特定財源	538	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	180	16	33	34	0	-

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.09	0.09	0.1	0.08	0.09
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	実施事業体（団体）	実績		1	1	1	1	0		1
		達成率		100%	100%	100%	100%	0%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	補助事業を活用した特用林産物の整備面積	実績		0	0	0	0	0		-
		達成率		-	-	-	-	-	-	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	試作品開発・新サービス創出支援補助事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	4	商工業の育成・支援
	小施策	①	企業の生産性向上
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	07-01-02-0001中小企業振興対策費		
事業継続年数	（事業開始年度 R3 ）		3年以上
根拠法令	令和6年度新庄市試作品開発・新サービス創出支援事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-4-①-1
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内において事業を営む中小企業で、試作品の開発や、新サービスの創出を行う企業。
事業の目的 どのような状態にしたいのか	試作品の開発及び新サービスの創出により、出荷額（売上額）の増加を目指す。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	審査会により事業採択が決定した事業者に対し、以下の補助対象経費合計額の2分の1以内の金額上限50万円を補助。 （広報誌、市HP、市内企業へのチラシ郵送） ・試作品開発、新サービス創出に係る原材料費及び副資材費 ・委託費及び外注加工費 ・技術指導等の講師に係る謝金・交通費及び宿泊費 ・性能検査費 等
事業の結果	令和6年度は1事業者（株式会社ナンシン）に対し補助を行い、補助事業者が有する技術を生かした新製品の開発を後押しし、企業の取引拡大に資する結果となった。一方で、2件分の事業費を予算計上しているが交付件数は1件であり、事業者ニーズをより的確に把握していく必要がある。また、現要綱では補助対象が曖昧になっており、本来対象とならない事業者からの相談も生じていることから、要綱の整理が必要である。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	0	1,000	747	982	500	1,000	補助金（500千円）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	1,000	747	982	500	1,000

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.11	0.31	0.30	0.1	0.27
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	広報活動（回）	実績	-	3	3	3	3		3
		達成率	-	100%	100%	100%	100%	0%	
説明									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	試作品開発、新サービス創出数（累計）	実績	-	2	4	6	7		15
		達成率	-	13%	27%	40%	47%	0%	
説明・出典									

1. 事務事業の概要

事務事業名	中小企業制度融資預託・貸付金		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	4	商工業の育成・支援
	小施策	①	企業の生産性向上
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	一般会計 07-01-02-0004金融対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R2)		3年以上
根拠法令	新庄市小売商業振興資金融資要綱、新庄市地域産業振興資金保証制度規程、新庄市産業立地促進資金制度要綱		

事業コード	4-4-①-2
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内中小企業
事業の目的 どのような状態にしたいのか	資金調達の支援を図り中小企業への融資が促進されることで、経営の安定に資することを目的とする。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	中小企業への資金融資の原資となる現金を市内金融機関へ預託する。（市での広報なし）
事業の結果	市内金融機関に融資の原資を預託し、中小企業が緊急時に融資制度を活用できるように準備することにより、金融機関からの安定的な資金供給が図られ、経営基盤の安定化が図られた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	862,927	853,796	775,456	700,879	246,854	206,341	市小売商業振興資金融資制度預託金（40,000） 市地域産業振興資金保証制度預託金（40,000） 市産業立地促進資金保証制度貸付金（126,341）	
内訳	特定財源	862,927	853,796	775,456	700,879	246,854	206,341	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	0	市小売商業振興資金融資制度預託金元金収入（40,000） 市地域産業振興資金保証制度預託金元金収入（40,000） 市産業立地促進資金保証制度貸付金元金収入（126,341）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		0.15	0.32	0.22	0.17	0.14
会計年度職員		0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	新規融資利用申請数（社）	実績		8	2	1	0	1		10
		達成率		80%	20%	10%	0%	10%	0%	
説明	各金融機関融資状況報告書より									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	融資利用数（社）	実績		30	24	24	16	16		40
		達成率		75%	60%	60%	40%	40%	0%	
説明・出典	各金融機関融資状況報告書より									

1. 事務事業の概要

事務事業名	各種保証制度保証料補給金		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	4	商工業の育成・支援
	小施策	1	企業の生産性向上
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	一般会計 07-01-02-0004金融対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H1)	10年以上	
根拠法令			

事業コード	4-4-①-3
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内中小企業
事業の目的 どのような状態にしたいのか	県と市が協調して企業の保証料負担の軽減を図ることで、市内中小企業が融資を受けやすくなる状態を目指す。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	市内の中小企業が、山形県商工業振興資金及び市単独融資制度を信用保証協会の保証付きで利用した場合、信用保証協会にその保証料の補給を行う。（市での広報なし）
事業の結果	市が保証料の一部を補給することで、企業の負担が軽減され、安定して融資を受けられる状態になった。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	21,726	25,026	24,293	21,880	18,768	15,066	山形県信用保証協会保証料補給金（15,066）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	21,726	25,026	24,293	21,880	18,768	15,066

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		0.15	0.27	0.26	0.17	0.14
会計年度職員		0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	新規保証承諾件数（件）	実績		627	67	78	91	74		-
		達成率		-	-	-	-	-		
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	年間保証承諾件数（件）	実績		56	17	21	11	1		-
		達成率		-	-	-	-	-		
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	創業支援事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	4	商工業の育成・支援
	小施策	②	創業・事業承継の支援
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	一般会計 07-01-02-0001 中小企業振興対策費/0003 商業振興対策費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)		3年以上
根拠法令	新庄市商業地域空き店舗等出店支援事業費補助金交付要綱、新庄市移動調理販売車両導入支援事業費補助金交付要綱、新庄市商工会議所事業費補助金交付要綱		

事業コード	4-4-②-1
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内中心市街地の空き店舗等で創業する事業主及び新庄商工会議所
事業の目的 どのような状態にしたいのか	創業予定者及び創業を検討している者に対して、空き店舗への出店も促しながら支援を行うことで、起業者を後押しし、経営相談しやすい環境づくりを図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	①商業地域空き店舗等出店支援事業 ・商業地域の空き店舗に出店する中小企業者に、新規出店時の改装費、広告宣伝費に係る経費のうち1/3以内の額を補助 ②移動調理販売車両導入支援事業 ・持ち帰り・配達飲食サービス業を移動調理販売車両により新たに開始する事業者に対し、対象経費のうち1/3以内の額を補助 ③商工会議所事業費補助金 ・新庄商工会議所に対し、創業者の一層の支援を目的として、補助金を交付 (周知方法 ①②・・・市報、市HP、SNS、回覧 ③・・・無し)
事業の結果	空き店舗活用、キッチンカー事業は問合せは数件あったものの、空き店舗1件、キッチンカー2件の利用にとどまった。キッチンカー事業については、事業開始時の目的は一定数果たされたと考えるため、令和6年度事業で終了とする。向事業については、今まで補助対象となった事業者へ追跡調査を実施し、どのような補助が有効かを検討していく。会議所補助金は、創業支援をはじめ、中小企業のアフターコロナ対応、新規法制度への対応等に活用された。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	2,636	5,956	11,928	8,862	7,429	7,000	空き店舗補助金 (500) キッチンカー補助金 (1,929) 商工会議所補助金 (5,000)
内訳	特定財源	0	0	6,000	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	2,636	5,956	5,928	8,862	7,429	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.12	0.32	0.73	0.69	0.43
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	創業支援相談人数	実績	11	11	14	38	31		20
		達成率	55%	55%	70%	190%	155%	0%	
説明	創業支援等事業計画								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	新規創業件数（年度）	実績	6	6	6	16	19		11
		達成率	55%	55%	55%	145%	173%	0%	
説明・出典	創業支援等事業計画								

1. 事務事業の概要

事務事業名	卓越技能者表彰事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	4	商工業の育成・支援
	小施策	他	
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	一般会計 05-01-01-0001 勤労者福祉対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 S63 ）		10年以上
根拠法令	新庄市卓越技能者表彰要綱		

事業コード	4-4-他-1
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	本市居住の卓越した技能を有する者。
事業の目的 どのような状態にしたいのか	市内在住の優れた技能者を選出し表彰することにより、技能者の地位と熟練技術水準の向上を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	「本市産業に従事し、その発展に貢献し、他の模範となる優秀な技能者」を表彰する。（広報及び市内の関係団体への推薦依頼）
事業の結果	本市産業の活性化、技能者の地位と熟練技術水準の向上が目的であるが、令和5年、6年と対象者の推薦が無かったため、今後、周知等に力を入れる必要がある。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	7	56	0	0	8	8	郵送料
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	7	56	0	0	8	8

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		0.39	0.28	0.18	0.18	0.13
会計年度職員		0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	団体からの推薦数（人）	実績		1	2	1	0	0		3
		達成率		33%	67%	33%	0%	0%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	新規受賞者数（人）	実績		1	2	0	0	0		3
		達成率		33%	67%	0%	0%	0%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	外国人材誘致推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	5	雇用の促進
	小施策	①	就労しやすい職場環境づくりに向けた支援
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	7-1-2-0002工業対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R1 ）		3年以上
根拠法令			

事業コード	4-5-①-1
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内立地企業で働く外国人労働者等
事業の目的 どのような状態にしたいのか	外国人労働者が働きやすい職場環境整備を目指す。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	市内において操業する企業で既に働いている外国人に対して、新庄市や最上地域の理解と愛着を深めてもらうための取組を最上地区雇用対策協議会、人財育成推進・確保対策協議会、新庄商工会議所と連携して実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ バスツアーの開催 ・ 外国人労働者向け日本語教室の運営補助
事業の結果	R6は一般財源での事業化はせず、人財育成推進・確保対策協議会内の事業として、新庄・最上地域で働く外国人向けの「新庄の魅力発見ツアー」として、もちつき体験及び新庄東山焼陶芸体験を実施し、16名が参加した。日本語教室の運営補助は、市公式HPとLINEにより市民に向けて周知した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	100	100	100	100	156	364	156千円（人財育成推進・確保対策協議会事業費）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	100	100	100	100	156	0

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.22	0.22	0.37	0.12	0.24
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	事業参加人数（R3～R7累計）	実績		16	4	20	34	50		100
		達成率		16%	4%	20%	34%	50%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	工業団地における外国人労働者数	実績		57	48	59	62	80		70
		達成率		81%	69%	84%	89%	114%	0%	
説明・出典	商工観光課「従業員調査」									

1. 事務事業の概要

事務事業名	勤労者生活安定資金預託金		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	5	雇用の促進
	小施策	①	就労しやすい職場環境づくりに向けた支援
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	一般会計 05-01-01-0001 勤労者福祉対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)	3年未満	
根拠法令	新庄市勤労者生活安定資金融資要綱		

事業コード	4-5-①-2
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	労働組合組織に未加入の勤労者（未組織勤労者）
事業の目的 どのような状態にしたいのか	未組織勤労者の低利融資を受けやすくし、経済的、社会的な面での支援を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	未組織勤労者への資金融資の原資となる現金を市内金融機関へ預託する。（広報へ掲載）
事業の結果	預託金額を増により多くの未組織勤労者の生活安定資金の活用が図られた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	20,000	20,000	30,000	30,000	30,000	30,000	勤労者生活安定資金預託金（30,000）
内訳	特定財源	20,000	20,000	30,000	30,000	30,000	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	勤労者生活安定資金預託金元金収入（30,000）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		0.1	0.22	0.19	0.16	0.14
会計年度職員		0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	融資制度周知回数（回）	実績		1	1	1	1	1		3
		達成率		33%	33%	33%	33%	33%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	年間融資利用者数（人）	実績		20	9	11	7	12		20
		達成率		100%	45%	55%	35%	60%	0%	
説明・出典	融資状況報告書より									

1. 事務事業の概要

事務事業名	地元定着型キャリア教育推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	5	雇用の促進
	小施策	②	若年層の地元定着に向けた支援
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-02-0002工業振興対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H27)	3年以上	
根拠法令			

事業コード	4-5-②-1
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新庄市内の小中高校に通う児童、生徒
事業の目的 どのような状態にしたいのか	地元就職率の向上及び若者のUターン促進による定住人口増
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	市内高校生を対象とした地元企業見学バスツアーを、最上地区雇用対策協議会と共催。 市内全中学校で「Shin-job体験」（出張職業体験会）を人財育成推進・確保対策協議会と共催。 その他、郡内町村、学校、社会教育団体からキャリア教育イベントに関する相談を受け、市内企業、団体の調整・協力依頼等を実施。
事業の結果	市内高校生向けの地元企業見学バスツアーでは、58名の高校生が参加し、7企業を見学した。 市内全中学で「Shin-job体験」を開催し、312名の生徒に対し延べ54社の企業が参加。 また、最上地区雇用対策協議会と共催した最上地区合同企業ガイダンスにおいては、265名の最上管内高校生と最上管内企業29社が参加した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	600	459	500	500	596	596	企業見学バスツアー開催負担金（396）、人財協負担金shin-job分（200）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	600	459	500	596	596	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.48	0.38	0.39	0.1	0.33
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	事業参加者人数（R3～R7累計）	実績		465	411	1093	1756	2391		2300
		達成率		20%	18%	48%	76%	104%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	高校からの就職者数のうち管内就職者割合	実績		57.1	58.7	49.7	53.4	56.6		62.1
		達成率		92%	95%	80%	86%	91%	0%	
説明・出典	商工観光課「進路状況調査」									

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄市学生トライアル雇用奨励金		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	5	雇用の促進
	小施策	②	若年層の地元定着に向けた支援
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-02-0002工業振興対策費		
事業継続年数	（事業開始年度 H29 ）		3年以上
根拠法令	新庄市学生トライアル雇用奨励金交付要綱		

事業コード	4-5-②-2
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内事業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	人財確保のための機会を創出する
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	就労体験とし、学生を一定期間雇用した市内事業者に対し、賃金の一部を奨励金として交付する。トライアル雇用を実施する事業者を、市HPや学生向けチラシに受入先として掲載し周知する。（市HP、市内企業へのチラシ郵送）
事業の結果	市HPや山形大学でのイベントでの事業周知等、学生に対する広報活動に力を入れたが、補助金の申請企業はなかった。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	33	33	0	35	0	0	補助金（0）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	33	33	0	35	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.23	0.28	0.32	0.1	0
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	交付事業者	実績		1	1	0	1	0		5
		達成率		20%	20%	0%	20%	0%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	体験先への就職者数	実績		1	0	0	0	0		3
		達成率		33%	0%	0%	0%	0%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄市ふるさと創生人材確保事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	5	雇用の促進
	小施策	②	若年層の地元定着に向けた支援
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	一般会計 10款1項2目 003教育委員会事務局運営事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H24 ~)		10年以上
根拠法令	新庄市ふるさと創生人材確保事業実施協定書		

事業コード	4-5-②-4
担当部署	教育総務課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	大学等の理工系、保育系、看護系の学部を志望し、かつ新庄市内の事業所に就職しようとする意志を持つ者。
事業の目的 どのような状態にしたいのか	将来の地域製造業従事者、保育士、看護師等の育成と新庄市内への定着を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・最上育英会の奨学金制度に新庄市枠を設け、無利子で奨学金を貸与する。 ・大学等を卒業後、市内の事業所に就職した場合は、奨学金の返還を半額免除する。 ・貸与額は月額4万円、期間は最長4年間。 ・貸与期間終了後2年間の据え置き後3年目より10年間の均等分割返済とする。 (周知方法 チラシ、広報紙、HP等)
事業の結果	令和6年度より、新たに4名の方へ奨学金の貸与を開始した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	4,320	7,200	8,160	6,720	6,240	6,720	40千円×12月×13人 =6,240千円
内訳	特定財源	1,527	3,423	2,175	3,458	2,829	特定財源の名称（金額）
	一般財源	4,320	5,673	4,737	4,545	2,782	雑入 3,458千円

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.22	0.22	0.22	0.21	
会計年度職員	-	0	0	0	0	

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	奨学金利用者数（人） （一年度新規分）	実績		3	6	3	3	4		6
		達成率		50%	100%	50%	50%	67%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	活用のうち 地元就職者（人）	実績		0	0	0	1	1		6
		達成率		0%	0%	0%	17%	17%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	若者の地元定着・回帰促進プロジェクト		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	5	雇用の促進
	小施策	②	若年層の地元定着に向けた支援
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-02-0002工業振興対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H30 ）	3年以上	
根拠法令			

事業コード	4-5-②-5
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内企業及び市内の若者、市外に転出した若者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	地元就職率の向上及び若者のUターン促進による定住人口増
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	人材育成推進事業（人材育成研修会 4回、トップセミナー 1回） 人材確保対策事業（大学キャリアカフェ、合同就職面談会、山形大学講義への協力） 交流事業（MOGAMIルーキーズカレッジ） （市HP、市内企業へのチラシ郵送）
事業の結果	それぞれ計画に沿って事業実施することができた。 特に、人材確保対策事業の大学キャリアカフェはR5からの取り組みであり、山形大学と東北学院大学で実施したほか、新たに鶴岡高専で開催し、延べ11社、57名の学生が参加した。企業と学生が気軽に話ができる機会を創出することで、企業においては自社のPRを、学生においてはキャリア形成の一環として、しごとや就活の悩みの解消に繋げることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	3,900	2,000	2,000	1,800	1,100	1,100	人材育成推進・確保対策協議会負担金（Shin-job除く）（1,100）
内訳	特定財源	1,950	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	1,950	2,000	2,000	1,800	1,100	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.56	0.46	0.42	0.65	0.39
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	各種事業参加者（企業）数（R3～R7累計）	実績		645	778	1512	2769	3976		4500
		達成率		14%	17%	34%	62%	88%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	新庄市内の総人口に対する18歳以上35歳未満の人口の割合	実績		14.7	14.18	14.01	14.04	13.87		15.2
		達成率		97%	93%	92%	92%	91%	0%	
説明・出典	新庄市住民基本台帳人口（各年3月末時点）									

1. 事務事業の概要

事務事業名	企業誘致対策事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	5	雇用の促進
	小施策	③	新たな企業誘致
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	7-1-4-0002企業誘致対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 S46 ）		10年以上
根拠法令	新庄市企業立地促進条例、新庄市企業立地促進条例施行規則、新庄市企業立地促進助成審査会設置要綱		

事業コード	4-5-③-1
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	誘致対象企業、既立地企業及び地場企業
事業の目的 どのような状態にしたいのか	定住人口の増加に向け、若者等に魅力ある雇用の場を創出する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	新庄中核工業団地への優良企業誘致のため、会社訪問やセミナーへの参加等の実施。 地方進出の意向のある企業の情報収集。 既立地企業の業務拡大のための各種支援。
事業の結果	R4年度に市内2つの工業団地において、分譲率が100%となった。（R6年度に新庄中核工業団地内の1区画が企業から市へ返還となった。）

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	15,361	33,437	45,160	643	31,502	5,405	公有財産購入費（28,800）、補助金（1,500）
内訳	特定財源	0	0	25,231	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	15,361	33,437	19,929	643	627	5,405

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.45	0.45	0.72	0.41	0.14
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	企業訪問社数（R3～R7累計）	実績		6	6	11	4	3		100
		達成率		6%	6%	11%	4%	3%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	新規立地企業数（R3～R7累計）	実績		0	0	1	0	0		3
		達成率		0%	0%	33%	0%	0%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	企業立地等雇用促進奨励金		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	5	雇用の促進
	小施策	③	新たな企業誘致
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-04-0002企業誘致対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H6 ）	10年以上	
根拠法令	新庄市企業立地等雇用促進奨励金交付要綱		

事業コード	4-5-③-2
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内企業及び新たに市外から立地する企業
事業の目的 どのような状態にしたいのか	企業が所有する建物、設備、雇用者の増加による、生産力向上、税収増加、定住人口増加
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	工場等の新設、増設、若しくは移設、本社機能の移転等に伴い、市民である新規常時雇用従業員を採用して、その雇用に1年以上継続した企業に対して奨励金を交付する。 <ul style="list-style-type: none"> ・投下固定資産取得額1千万円以上1億円未満（中小企業は300万円以上3千万円）の場合、新規常時雇用従業員1人あたり30万円 ・同じく1億円以上（中小企業は3千万円以上）の場合、1人あたり50万円
事業の結果	工場の増設に伴う奨励金の交付により、立地企業のさらなる雇用促進につなげることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	4,000	6,500	0	3,500	1,500	0	補助金（1,500）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	4,000	6,500	0	3,500	1,500	0

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.21	0.31	0.32	0.15	0.18
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	指定・交付決定数（R3～R7累計）	実績		6	5	1	1	1		30
		達成率		20%	17%	3%	3%	3%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	交付対象である従業員数（R3～R7累計）	実績		8	28	7	7	3		130
		達成率		6%	22%	5%	5%	2%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	グリーン・ツーリズム推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	7-1-3-0001 新庄市グリーン・ツーリズム推進協議会負担金		
事業継続年数	（事業開始年度 H26 ）	3年以上	
根拠法令			

事業コード	4-6-①-1
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	①体験プログラム実践者 ②観光客
事業の目的 どのような状態にしたいのか	①体験プログラム実践者の増加 ②楽しんでもらい、再訪してもらう
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	グリーン・ツーリズム推進に関する地域内での検討・取組を活性化させる ・市グリーン・ツーリズム協議会への参画や負担金拠出 ・プログラムと実践者の掘り起こしと既存プログラムの磨き上げ（広報誌、HP、ポスター、チラシ、各種SNSなど）
事業の結果	新規体験プログラムの開発・促進が滞っており、新庄市グリーンツーリズム推進協議会で実施している雪国ワンダーランドのみとなっている。雪不足だった令和5年度より参加者が大幅に増加し、例年並みとなった。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	0	910	880	880	80	80	県GT推進協議会負担金（80千円）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	910	880	880	80	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.74	0.7	0.7	0.7	0.7
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	体験プログラム数（件）	実績		1	1	1	2	1		10
		達成率		10%	10%	10%	20%	10%	0%	
説明	市が把握する体験プログラムの数									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	体験プログラム参加者数（人）	実績		4045	3494	3868	524	3455		8000
		達成率		50.6%	43.7%	48.4%	6.6%	43.2%	0.0%	
説明・出典	プログラムに参加した延人数の合計									

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄雪まつり実行委員会補助事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	07-01-03-0001観光振興対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)		3年以上
根拠法令	新庄雪まつり実行委員会運営事業補助金交付要綱		

事業コード	4-6-①-2
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新庄雪まつり実行委員会
事業の目的 どのような状態にしたいのか	本地域の特徴である雪を観光資源と捉え、雪まつりを実施することで、交流人口の増加を図る事業内容とするため、対象を支援する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	新庄雪まつり実行委員会に補助金を支出し、雪像の作成、各種イベントを遂行していただく。 (市HP、市Instagram、市LINEにてイベントの広告を行う)
事業の結果	降雪量が少なく雪像の数も少なかったが、非常に天気が良かったこともあり多くの市民の方に来場いただいた。新庄雪まつりを通して雪を用いた遊びや冬の魅力に触れていただくことで、雪国新庄だからこそ味わえる自然の恵みや食文化を多くの来場者に感じていただいた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	986	1,010	1,299	1,488	1,300	1,300	新庄雪まつりごみ処理負担金（100）、新庄雪まつり実行委員会運営事業補助金（1,200）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	986	1,010	1,299	1,488	1,300	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.22
会計年度職員	0	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	PRチラシ発行枚数（万枚）	実績		3	3	3	3	3		3
		達成率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	来場者数(万人)	実績		1.10	0.69	1.60	2.34	0.95		10.00
		達成率		11.0%	6.9%	16.0%	23.4%	9.5%	0.0%	
説明・出典	主催者発表の数字									

1. 事務事業の概要

事務事業名	エコロジーガーデン利活用推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	7款1項3目 エコロジーガーデン推進事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H14 ）		10年以上
根拠法令	新庄市エコロジーガーデン設置及び管理に関する条例		

事業コード	4-6-①-3
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	利用者（来訪者）
事業の目的 どのような状態にしたいのか	利用者を増やし、かつ満足度を高めることにより再訪してもらう
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史文化資源と景観の保全 ●歴史文化伝承機能の充実・建物や樹木等の適正管理 ●市民が憩い学べる空間づくり ●公園機能の整備・施設概要やイベント等の情報発信 ●多面的な利用展開 市民活力の導入・多様な実施主体との連携・市民活動の支援 （市報、チラシ、Webサイト、新聞、テレビ等）
事業の結果	市民の憩いの場所として認知度や利用者数が順調に増加している。また、常に「何かある」状態となるよう民間の力を取り入れながら通年でのイベント開催等のソフト事業が展開できるようになってきている。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	152,415	36,995	35,204	55,395	36,589	120,051	光熱水費（8,474） 施設管理業務委託料（5,879）	
内訳	特定財源	56,497	8,530	11,952	15,243	10,606	55,734	特定財源の名称（金額）
	一般財源	95,918	28,465	23,252	40,152	25,983	64,317	エコロジーガーデン使用料（5,547） エコロジーガーデン雑入（3,936） [国]社会資本整備総合交付金（1,123）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員		1.35	1.62	1.53	1.25	2.08
会計年度職員		4.00	4.00	4.00	4.00	5.00

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	催しの開催回数（回）	実績		14	53	40	113	127		40
		達成率		35%	133%	100%	283%	318%	0%	
説明	市主催のほか貸出施設等における民間主催分を含む									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	年間来園者数 （人。まゆの郷利用者を除く）	実績		17,922	24,882	26,427	39,471	30,074		50,000
		達成率		35.8%	49.8%	52.9%	78.9%	60.1%	0.0%	
説明・出典	施設利用者数+店舗利用者数+イベント集客数									

1. 事務事業の概要

事務事業名	道の駅整備事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	施設等整備事業		
予算区分	一般会計 8-4-1 都市計画総務費		
事業継続年数	(事業開始年度 H29)	3年以上	
根拠法令			

事業コード	4-6-①-4
担当部署	都市整備課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	道路利用者、施設利用者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	本市における道の駅整備を進め、既存施設の利活用と合わせて、にぎわいを創出できる拠点整備をすることにより来場者の満足度を高める。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	「新庄市道の駅基本構想」を踏まえ、道の駅整備事業によってエコロジーガーデン周辺に調和のとれた景観とともに屋外トイレ、駐車場等の整備を行う。国との「一体型道の駅」整備を進める。 (広報誌)
事業の結果	道の駅整備に関し国と締結した協定を基に事業を進めている。R6年度は「休憩・情報発信施設」の設計を完了、設置個所の造成工事を実施している。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）	
事業費	0	1,000	76,173	41,555	109,408	330,180	道の駅関連付帯工事 47,634 (市道太田一本柳線側溝改良工事)	
内訳	特定財源	0	0	4,374	17,259	62,679	211,495	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	1,000	71,799	24,296	46,729	118,685	国 道の駅整備事業費負担金 45,474 県（社総交）都市再生整備計画事業 17,205

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員			0.69	0.86	1.2	1.3
会計年度職員			0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	事業費換算整備面積(m)	実績	0	26	3,064	3,185	6,120		17,000
		達成率	0%	0%	18%	19%	36%		
説明	当該年度累積整備事業費/全体事業費×R7目標整備面積								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	エコロジーガーデンの年間来園者数（人。まゆの郷利用者を除く）	実績	17,922	24,882	26,427	21,100	22,345		50,000
		達成率	36%	50%	53%	42%	45%	0%	
説明・出典	施設利用者数・店舗利用者数・イベント集客数								

1. 事務事業の概要

事務事業名	本合海水辺プラザ管理運営事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	施設維持管理（補修）事業		
予算区分	07-01-03-0002観光交流推進事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R3 ）		3年以上
根拠法令	本合海水辺プラザ管理運営協議会規約		

事業コード	4-6-①-5
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	本合海水辺プラザを含めその周辺（八向楯・羽黒山・庄内エリア・肘折温泉・最上川舟下り等）への観光客等及び地域住民・地域団体
事業の目的 どのような状態にしたいのか	本合海水辺プラザ及びその周辺の文化遺産を含む有効活用のため、地域住民と行政が協働して必要な環境整備を行い、地域の活性化に資する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	当該地の観光地化の可能性について地域住民・地域団体等と協議し、適切な環境管理を行い、有効活用のため、維持管理作業を行う。 （本合海地区及び畑地区に回覧文書、両地区区長に郵送にて周知を行う）
事業の結果	町内会、地域団体を中心に市と協働による環境整備作業及び土砂撤去等の作業を行い散策路の周遊できるように整備した。7月の豪雨災害により2回目の環境整備作業が中止となり、3回目の作業で土砂や流木等の撤去をおこなった。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	573	590	575	475	576	500	レンタルトイレし尿処理費用（6）、レンタルトイレ借上料（70）、水辺プラザ管理運営協議会負担金（500）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	573	590	575	475	576	500

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.23
会計年度職員	0	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	本合海水辺プラザ整備活動回数	実績		1	3	3	3	2		3
		達成率		33.3%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	0.0%	
説明	実行委員会報告書による									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	名勝「おくのほそ道風景地（本合海）周辺観光者数（百人）	実績		59	55	55	55	20		120
		達成率		49.2%	45.8%	45.8%	45.8%	16.7%	0.0%	
説明・出典	過去の実績と観光地周辺関係者の情報を参考に算出									

1. 事務事業の概要

事務事業名	観光地環境美化推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-03-0001観光振興対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H27 ）		3年以上
根拠法令			

事業コード	4-6-①-6
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市内名所旧跡及び観光地
事業の目的 どのような状態にしたいのか	観光地等の環境整備を実施することにより、観光客・市民が快適に過ごせる観光資源となり、より魅力ある地域への一助となる。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	事業実施者が、その史跡等の観光地や観光施設等において、環境整備・美化・パトロールを行いつつ、観光客の問い合せに答えるなどの観光案内を行う。（なし）
事業の結果	コロナ禍の時と比較すると、イベントの開催や観光客が昨年に比べ多くなり、定期的な環境整備により、観光地の景観の維持や危険箇所の早期発見を行い、観光客や市民に安全に楽しんでもらうことが出来た。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	2,670	2,670	2,670	2,670	2,670	2,706	観光地環境美化推進事業業務委託料（2,670）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	2,670	2,670	2,670	2,670	2,670	2,706

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.05	0.05	0.05	0.1	0.1	0.1
会計年度職員	0	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	活動日数	実績		238	222	223	230	210		200
		達成率		119%	111%	112%	115%	105%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	観光者数（千人）	実績		270	284	400	432	未発表		700
		達成率		39%	41%	57%	62%	0%	0%	
説明・出典	山形県観光者数調査									

1. 事務事業の概要

事務事業名	登山道刈り払い事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	施設維持管理（補修）事業		
予算区分	07-01-03-0002観光基盤整備事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)	3年以上	
根拠法令			

事業コード	4-6-①-7
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	登山道
事業の目的 どのような状態にしたいのか	登山道を整備することで、登山者が安全で歩きやすい状態を維持し、新規の登山客やリピーターを増やす。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	国定公園内及び国定公園外の登山道の刈り払いについて、山岳団体および地元関係者などに業務委託する。（複数の山岳団体と調整しながら業務を委託する。）
事業の結果	昨年度も地元山岳団体に依頼し刈り払いを実施し、登山者の安全を確保できた。また、山岳団体に刈り払いを委託してから、登山道の整備状況がよくなり登山者からの評判もよくなってきている。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	1,321	1,421	1,425	1,521	1,521	1,727	国定公園内登山道刈り払い業務委託料（861）、国定公園外登山道刈り払い業務委託料（594）、登山道案内標柱作成業務委託料（66）
内訳	特定財源	853	858	861	859	863	特定財源の名称（金額）
	一般財源	468	563	564	662	658	自然公園登山道刈り払い委託金（863）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
会計年度職員	0	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	登山道刈り払い距離数（km）	実績		47	47	47	47	47		47
		達成率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	神室山系登山客数(百人)	実績		15	15	16	16	15		25
		達成率		60.0%	60.0%	64.0%	64.0%	60.0%	0.0%	
説明・出典	山形県観光客数調査									

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄味覚まつり実行委員会運営事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	7-1-2-003 商業振興対策費		
事業継続年数	(事業開始年度 H20)	10年以上	
根拠法令			

事業コード	4-6-①-8
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市民および観光客
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄の伝統的または個性的な食や特産品を再確認するとともに、新庄への来訪者に紹介し、本地域の食文化や物産についての理解を求め、地域間交流の促進を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか (周知方法)	食やイベント関係の企画出店の調整、広報宣伝、開催当日の来場者警備等に関し、「新庄味覚まつり実行委員会」に負担金を支出し、官民協同の連携を図る。 (市報、市公式HP、各種SNS、ポスター掲示)
事業の結果	「第17回新庄味覚まつり」を無事開催することができ、同日開催のイベントと合わせ、本市の物産の振興およびまちなかの賑わい創出の一助となった。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	700	0	400	700	700	700	新庄味覚まつり実行委員会負担金（700）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	700	0	400	700	700	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.54	0.48	0.41	0.42	0.29
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	出店者数	実績	25	-	31	42	42		30
		達成率	83%	-	103%	140%	140%	0%	
説明	R3は未開催のため数値無し								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	来場者数	実績	25,000	-	20,000	28,000	21,000		30,000
		達成率	83%	-	67%	93%	70%	0%	
説明・出典									

1. 事務事業の概要

事務事業名	物産振興交流推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	7-1-3-0001 観光振興対策事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H23 ）		10年以上
根拠法令	新庄観光まちづくり協議会規約		

事業コード	4-6-①-9
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	所縁のある都市住民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	多くの人に本市を訪れたり物産品を購入してもらう
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	物販やPRイベントに参加し、本市の存在や特産品の魅力を伝える場面を増やすとともに、特産品や地域の魅力向上などに取り組む。（ポスター掲示、HP等）
事業の結果	積極的に物販やPRイベントに参加でき、本市の魅力発信に努めることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	6,750	3,300	2,600	4,000	9,098	9,940	新庄観光まちづくり協議会負担金（9,098）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	6,750	3,300	2,600	4,000	9,098	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.5	0.5	0.55	0.6	0.23
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	物販・PRイベント参加数	実績		9	10	14	20	19		35
		達成率		25.7%	28.6%	40.0%	57.1%	54.3%	0.0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	もがみ物産館で買い物した人数	実績		48,225	60,586	79,314	85,529	78,433		80,000
		達成率		60.3%	75.7%	99.1%	106.9%	98.0%	0.0%	
説明・出典	レジ打ちした件数									

1. 事務事業の概要

事務事業名	外国人誘客推進事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	7-1-3-001 観光交流推進事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H23)	10年以上	
根拠法令			

事業コード	4-6-①-10
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	①外国人観光客 ②市内観光事業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	①多くの外国人観光客（インバウンド）に訪れてもらう ②誘客のための旅行商品を企画してもらう
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	新庄観光まちづくり協議会への支援を行うことに加え、多様な民間団体・企業との連携を深め、より多くの外国人観光客に当地域を訪れていただけるよう、受入体制整備と情報発信に取り組む。 （繁体字中文版Facebookによる地域情報の発信）
事業の結果	多様な団体との連携により外国人観光客の受入数を増加させることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	3,459	2,409	2,910	2,784	11,578	12,405	外国人観光客案内体制整備事業委託料（2,330） 新庄観光まちづくり協議会負担金（9,096） やまがたインバウンド協議会負担金（150）
内訳	特定財源	199	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	3,260	2,409	2,910	2,784	11,578	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.64	0.87	0.92	0.59	0.40
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	誘致活動件数	実績	2	1	4	3	2		10
		達成率	20%	10%	40%	30%	20%	0%	
説明	WEBを活用した活動を含む								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	外国人観光客数	実績	353	648	862	2,245	2,715		4,000
		達成率	9%	16%	22%	56%	68%	0%	
説明・出典	外国人旅行者受入実績調査(立寄・宿泊者の累計/商工観光課調)								

1. 事務事業の概要

事務事業名	城下町新庄周遊促進プロジェクト		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-03-0002 新庄まつり振興事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R4 ）	3年未満	
根拠法令			

事業コード	4-6-①-11
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新庄を訪れる旅行者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	滞在時間の延長、観光消費の拡大、観光満足度の向上
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	新庄まつりをはじめとした 城下町新庄の歴史的資源を活用した観光周遊コンテンツ整備を行う。駅から新庄城址一帯のエリアでの 観光導線を生むことで、まちなかの周遊性を向上させる。地域の歴史を学ぶための教育コンテンツとしての活用も想定したうえで整備を行う。（広報誌、HP、チラシ、各種SNS）
事業の結果	旧町名表示標柱に貼り付けてある二次元コードを読み込むことにより鑑賞することができる、新庄市の歴史や文化をまとめた解説動画を作成した。 また、まちなかの周遊を目的として、標柱を巡るスタンプラリーができるWEBアプリの製作を行い、約2か月の期間を設け「謎解きスタンプラリー-戸沢家の秘宝」を開催した。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	-	-	990	5,535	3,492	-	観光映像コンテンツ等制作業務委託（3,492）
内訳	特定財源	-	990	5,535	3,475	-	特定財源の名称（金額）
	一般財源	-	0	0	17	-	まつり振興基金（3,475）

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	0.14	0.14	0.14	0.16
会計年度職員	-	-	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	標柱修繕本数（累計）	実績	-	-	11	64	0		64
		達成率	-	-	17%	100%	0%		
説明	修繕済/全64基								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	標柱スタンプラリー参加者数	実績	-	-	0	0	99		400
		達成率	-	-	0%	0%	25%		
説明・出典	スタンプラリーアプリの登録者数								

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄観光まちづくり協議会運営事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	①	地域資源を活かした観光コンテンツの充実
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	7-1-3-001 観光交流推進事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R6 ）		3年未満
根拠法令			

事業コード	4-6-①-12
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	①本市を訪れる観光客 ②市内観光・物産・交通・宿泊事業者
事業の目的 どのような状態にしたいのか	①国内外問わず多くの観光客に訪れてもらう ②交流人口、関係人口の獲得 ③物産振興 ④誘客のための旅行商品を企画してもらう
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	新庄観光まちづくり協議会への支援を行うことに加え、多様な民間団体・企業との連携を深め、国内外問わずより多くの観光客に当地域を訪れていただけるよう、受入体制整備と情報発信に取り組む。 （各種SNS等による地域情報の発信（協議会による委託事業））
事業の結果	多様な団体との連携により観光客の受入数を増加させることができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	-	-	-	-	9,098	9,940	新庄観光まちづくり協議会負担金（9,098）
内訳	特定財源				0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源				9,098	9,940	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	-	-	-	0.38	0.50
会計年度職員	-	-	-	-	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画
	市外でのPR活動回数	実績	-	-	-	-	12		15
		達成率	-	-	-	-	80%	0%	
説明	協議会の各事業で行った商談会・物産展・イベント等への参加回数								

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標
	観光客数（千人）	実績	270.2	284.0	400.7	432.8			700.0
		達成率	39%	41%	57%	62%	0%	0%	
説明・出典	山形県観光客数調査								

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄観光協会連携事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	②	観光客の受入体制強化
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分			
事業継続年数	(事業開始年度 R3)	3年以上	
根拠法令			

事業コード	4-6-②-1
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	新庄観光協会
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄観光協会が行う、観光事業の展開及び情報の提供を行うことで、観光協会の事業のスムーズな進行を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	新庄観光協会の事業に人的協力を行い、春まつり（カド焼きまつり含む）、市民号、新庄まつりかわら版の配布及び各種イベント運営や新庄まつりカレンダーの販売等の活動を支援する。（HP、Instagram、市報）
事業の結果	新庄観光協会が実施する春まつりやカド焼きまつりを開催することができ、来場者数も増加した。今後も、イベントへの来訪者数増を目指し、開催形態等の検討を進める必要がある。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	0	0	0	0	0	0	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	0	0	0	0	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.15
会計年度職員	0	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	新庄観光協会が実施するイベントへの動員回数	実績		1	1	1	1	1		7
		達成率		14%	14%	14%	14%	14%	0%	
説明	年間の動員機会									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	新庄観光協会が主催するイベント数及び事業数	実績		2	2	2	2	2		10
		達成率		20%	20%	20%	20%	20%	0%	
説明・出典	年間の主催するイベント数及び事業数									

1. 事務事業の概要

事務事業名	まちなか賑わい創出事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	②	観光客の受入体制強化
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	07-01-03-0001観光振興推進事業		
事業継続年数	（事業開始年度 R3 ）		3年以上
根拠法令	新庄観光まちづくり協議会規約		

事業コード	4-6-②-2
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	観光客及び市民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	各種イベント等来場者（観光客）をまちなかに誘導し、まちなかの賑わいを創出するとともに、商店街の活性化を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	各種イベント及び商店街との連携を図り、まちなかに賑わいを創出する事業を実施する。（チラシ・SNS・HP等） ・新幹線やイベント列車の乗降客の出迎えを行う「おもてなし事業」などのイベントの支援 ・広告媒体への観光PR費用の捻出
事業の結果	山形新幹線新庄延伸25周年記念おもてなしイベントのほかイベント列車の利用者へのおもてなしや、市内各地で開催されるイベントへの協力等を行った。また、最上地域観光協議会と連携して万場町商店街を中心とした「まちなか漫画ミュージアム」を行った。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	0	700	500	500	9,098	9,940	新庄観光まちづくり協議会負担金（9,098）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	0	700	500	500	9,098	9,940

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	0.28	0.28	0.13	0.13	0.11
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	イベント列車等乗降客へのおもてなしを行う	実績		3	8	3	4	3		8
		達成率		38%	100%	38%	50%	38%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	来場者の満足度を向上させるために、本事業と連携する各種イベントの数	実績		6	10	7	8	6		10
		達成率		60%	100%	70%	80%	60%	0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	陸羽東西線利用推進協議会関連事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	③	広域的な交流と地域連携の促進
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	07-01-03-0001観光振興対策事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 H8)	10年以上	
根拠法令	陸羽東西線利用推進協議会規約		

事業コード	4-6-③-2
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市民及び観光客
事業の目的 どのような状態にしたいのか	陸羽東西線を利用してもらう。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	陸羽東西線利用推進協議会に負担金を支出し、利用拡大のためのPRパンフレット作成やイベントを沿線自治体とともに実施する。また、ダイヤ改正の要望活動を行う。（広報誌、HP、各種SNS）
事業の結果	陸羽東西線利用促進イベントは、コロナ禍の収束で観光需要が回復したことにより計4回のイベント開催を行うことができた。促進イベントの他、JR東日本と共催でイベントの開催や陸羽東西線パンフレットの設置を積極的に行う等、陸羽東西線利用促進を図ることができた。また、東日本旅客鉄道株式会社に対して令和6年7月の豪雨災害により運休している陸羽東線の早期復旧を求める要望を行った。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	28	28	28	28	28	28	陸羽東西線利用推進協議会負担金（28）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	28	28	28	28	28	

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.22	0.22	0.22	0.25	0.25	0.33
会計年度職員	0	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	陸羽東西線利用促進PR回数	実績		0	0	1	5	4		4
		達成率		0%	0%	25%	125%	100%	0%	
説明	実施事業数及びPR活動数									

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	陸羽東西線運行列車本数（本）	実績		36	36	37	38	36		38
		達成率		95%	95%	97%	100%	95%	0%	
説明・出典	令和7年3月時点の陸羽東西線代行バスの運行本数									

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄まつり実行委員会運営事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	④	新庄まつりの充実と振興
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	7-1-3-0001 新庄まつり振興事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 H27 ）		10年以上
根拠法令	新庄まつり実行委員会規約		

事業コード	4-6-④-1
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	市民及び観光客
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄まつりにより交流人口の拡大を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	広報宣伝、行列全般の調整・運営、まつり関係団体への支援、観覧客整理や交通安全対策について、主催となる「新庄まつり実行委員会」に負担金を支出し、官民協働で実施する。（広報誌、HP、ポスター、チラシ、テレビ出演、CM、イベント出展、各種SNSなど）
事業の結果	令和6年の新庄まつりは、昨年に続き通常開催として実施し、酷暑や大雨など天候面が心配されたが大きな事故もなく全ての祭事が滞りなく行われた。 また、曜日配列に恵まれ24日の宵まつり、25日の本まつりともに令和5年を上回る人出となった。26日の後まつりは前年同様の人出となり、3日間通算では前年比1割程度増の42万人の人出となった。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	8,500	28,120	38,223	32,523	38,873	43,960	新庄まつり実行委員会負担金（38,873）
内訳	特定財源						特定財源の名称（金額）
	一般財源	8,500	28,120	38,223	32,523	34,823	43,960

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	-	1.7	1.5	1.5	1.5	1.69
会計年度職員	-	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	実行委員会（専門部会含む）会議数	実績		12	11	14	14	14		20
		達成率		60%	55%	70%	70%	70%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	新庄まつり人出数（千人）	実績		-	-	330	380	420		1,000
		達成率		-	-	33.0%	38.0%	42.0%	0.0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄まつり補助事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	④	新庄まつりの充実と振興
事業区分	補助金・負担金事業（ソフト事業）		
予算区分	07-01-03-0001 新庄まつり振興事業費		
事業継続年数	（事業開始年度 R3 ）		3年以上
根拠法令	山車資材保管施設等基盤整備補助金交付規程,新庄まつり囃子保存基盤整備補助金交付規程		

事業コード	4-6-④-2
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	各町内若連及び囃子若連
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄まつりの中枢ともいえる山車・囃子に必要な各種施設・物品の老朽化・破損により、圧迫される各団体の財政状況を緩和する。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか （周知方法）	山車資材保管施設等基盤整備補助金交付規程・新庄まつり囃子保存基盤整備補助金交付規程により、山車資材保管施設、山車小屋の建設、台車の更新、まつり囃子の演奏楽器購入・修繕等に係る費用を一部補助する。（各若連への文書送付）
事業の結果	山車保管庫整備及び囃子演奏器具の修繕への補助を行い、伝統行事である新庄まつりの山車とまつり囃子の継承保存に寄与することができた。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	800	1,511	725	1,526	938	1,275	山車資材保管施設等基盤整備補助金（237）、まつり囃子保存基盤整備補助金（701）
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	800	1,511	725	1,526	938	1,275

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.17
会計年度職員	0	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	要望調査時の希望団体数（件）	実績		5	6	3	5	2		6
		達成率		83.3%	100.0%	50.0%	83.3%	33.3%	0.0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	補助団体（町内若連）数（団体）	実績		2	4	3	6	4		6
		達成率		33.3%	66.7%	50.0%	100.0%	66.7%	0.0%	
説明・出典										

1. 事務事業の概要

事務事業名	新庄まつりラッピングトラック事業		
第5次総合計画体系	柱	4	産業
	施策	6	観光の振興
	小施策	④	新庄まつりの充実と振興
事業区分	ソフト事業（任意）		
予算区分	07-01-03-0001 新庄まつり振興事業費		
事業継続年数	(事業開始年度 R3)	3年以上	
根拠法令			

事業コード	4-6-④-4
担当部署	商工観光課

2. 事務事業の対象・目的・内容・結果

事業の対象	ラッピングトラックが運行する各地の住民
事業の目的 どのような状態にしたいのか	新庄まつりラッピングトラック事業を継続することにより、ユネスコブランドを前面に打ち出した新庄まつりのPRを強気に展開し、交流人口の拡大を図る。
事業の内容 どのような方法・手段で事業を行ったか（周知方法）	現在5台のラッピングトラックが運行しているが、「ユネスコ無形文化遺産」の字句が入っていない1台を剥離して4台体制とする。また、ラッピングシートの耐久性の観点から1台あたり5年を目途に、順次張り替え作業を行う。
事業の結果	ラッピングトラックは現在3台運行している。令和6年度は現状維持のまま、7年度以降台数を減らしていく。

3. 事業費（単位：千円）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	主な歳出（金額）
事業費	1,047	1,089	1,100	1,355	0	1,784	
内訳	特定財源	0	0	0	0	0	特定財源の名称（金額）
	一般財源	1,047	1,089	1,100	1,265	0	1,784

4. 人員（単位：人）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
正規職員	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
会計年度職員	0	0	0	0	0	0

5. 評価指標

活動指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7計画	
	ラッピングトラック台数	実績		6	5	4	3	3		4
		達成率		150%	125%	100%	75%	75%	0%	
説明										

成果指標	指標名称	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7目標	
	新庄まつり入出数（千人）	実績		0	0	330	380	420		1,000
		達成率		0%	0%	33%	38%	42%	0%	
説明・出典										